

平成25年度 情報セキュリティ対策推進事業
中小企業情報セキュリティ対策促進事業
実施報告書

平成26年3月31日

特定非営利活動法人
日本ネットワークセキュリティ協会

=== 目 次 ===

第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要	- 2 -
第2章 指導者育成セミナー開催概要.....	- 5 -
第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数.....	- 6 -
第4章 指導者育成セミナープログラム.....	- 8 -
第5章 作成した教材のポイント	- 9 -
第6章 指導者育成セミナー参加者に対する支援策	- 10 -
第7章 各地の開催状況(開催日程順)	- 11 -
第8章 指導者育成セミナー実施状況.....	- 32 -
第9章 開催会場からの意見.....	- 47 -
第10章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見.....	- 53 -
第11章 講師スキル養成セミナー開催状況	- 64 -
第12章 入門セミナー開催状況	- 70 -
第13章 指導者による地域での講習会の開催	- 76 -
第14章 まとめ	- 83 -

第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要

【事業の目的】

経済社会がグローバル化する今日、IT化の進展によって企業の生産性が飛躍的に向上し、国境を越えたサプライチェーンが高度化してきている。その一方で、インターネットを通じ、社内やグループ企業内のコンピュータ、ネットワーク、従業員の家庭のコンピュータから、企業情報の漏えい、個人情報流出などの事件・事故が相次いで発生しており、その内容も多様化する一方となっている。このような情報セキュリティに関する事件・事故は、利用者である顧客に重大な損害を与えるだけでなく、企業そのものに金銭的な不利益をもたらすとともに、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失うおそれがある。またさらにはIT活用の阻害要因ともなり、社会経済全体への悪影響を及ぼすことになりかねない。

これまで、関係機関の理解と協力のもとに様々な事業を行うことで、我が国の企業の情報セキュリティレベルは全体的に向上しつつあるが、企業規模別に見ると、中小企業における情報セキュリティ対策の取組みは、大企業と比較して十分とは言えない。脆弱な情報セキュリティ対策の状況では、標的型攻撃の基盤として使われる懸念もあり、実際に事件・事故が多発している状況である。また、昨今、顧客から預かった大事な情報を、委託先の中小企業が漏えいしてしまう事故も発生していることから、中小企業の情報セキュリティレベルの向上を図ることが、我が国全体の情報セキュリティ水準の向上には必要不可欠である。

このような状況を踏まえ経済産業省からの委託を当協会が受け、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、及び株式会社商工組合中央金庫の協力のもと、中小企業の経営者等に対して、情報セキュリティ対策に係る意識を高めてもらうことを目的とした中小企業情報セキュリティ対策促進事業を実施した。

この事業は6年度目の事業であり、本事業の趣旨と5年間で実施した成果と課題を反映して、中小企業に対して、情報セキュリティ対策の必要性への気づきを与え、企業に応じた対策を行ってもらうことを目的とした事業となっている。地域ごとの指導的立場の人材が情報セキュリティ対策の重要性と具体的対応を中小企業の経営者に直接指導することが、適切な情報セキュリティ対策実施のためには必要であることから、特に今年度は、情報セキュリティ対策の計画から実行だけでなく、運用の現状チェックと対策の見直しに重点事項を絞ったセミナー内容とするとともに、講師としての伝える技術も向上させるプログラムとして検討し、指導者の育成を中心とする施策を次のとおり実施した。

【実施施策概要】

- ・ 全国の商工会議所の職員、商工会職員、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、EC 実践講師、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々（地場の情報セキュリティベンダーなど）を対象とした指導者向けの情報セキュリティ研修「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を開催し、それにより各商工会議所の職員、商工会・都道府県中央会関係者等は、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応できるようにする。
- ・ 日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ等のITの専門家は、研修を受講することにより、地域の中小企業に対するIT利活用の支援等を実施する際に、情報セキュリティ対策が必要不可欠であることについて「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の適切な実施に導くことができるようにする。
- ・ さらに、情報セキュリティ対策への理解と意識向上のために受講者が地域で開催する講習会を支援することとし、セミナー教材や指導用ツールを無償で提供を行うとともに、「お近くの相談員」として、本促進事業ホームページに氏名を掲載する。
- ・ 前年度からの施策として、講師としての教える能力の向上を目指して「講師スキル養成セミナー」を実施し、中小企業ごとに様々な知識レベルや対策の状況に応じて適切に指導できるようにする。
- ・ 今年度新規施策として、基礎的なセキュリティ知識と簡単な指導の仕方を解説する「入門セミナー」を実施した。これは、情報セキュリティ対策の重要性は認識しているが、自身が指導を行うのは荷が重いと感じている方に対して、指導的立場になっていただくための意識を持っていただくための施策として試験的に実施し、将来に渡って指導者候補者の拡大を図るために行ったものである。
- ・ また、各商工会議所職員、商工会関係者、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々が、助言を求めることを可能とするコールセンターを、IPA の協力のもとに設置する。

【ワーキンググループによる実施内容検討】

本事業の実施にあたり、有識者及び当協会会員企業を参加メンバーとしたワーキンググループを設置し、セミナーの企画・演習資料などの教材検討、受講者集客や講習会の開催方法についての検討会を計4回実施した。

(ア) 検討会開催日時

- ・ 第1回会合 平成 25 年 8 月 9 日(金) 15 時～16 時 30 分
- ・ 第2回会合 平成 25 年 9 月 18 日(金) 13 時 30 分～15 時 30 分
- ・ 第3回会合 平成 25 年 12 月 25 日(水) 10 時～11 時 50 分
- ・ 第4回会合 平成 26 年 3 月 18 日(火) 13 時 30 分～15 時 30 分

(イ) ワーキンググループ参加メンバー

- ・ ワーキンググループリーダー
井上 陽一 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会顧問・西日本支部長
- ・ ワーキンググループメンバー
石井 茂 独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター
高野 晶子 日本商工会議所 情報化推進部
青山 淳 全国商工会連合会 組織運営部 情報課
佐久間 一浩 全国中小企業団体中央会 事業推進部
小林 邦人 IT コーディネータ協会 (IT コーディネータ多摩協議会)
渡部 章 (株)アークン
加藤 雅彦 (株)インターネットイニシアティブ
持田 啓司 (株)大塚商会
小屋 晋吾 トレンドマイクロ(株)
嶋倉 文裕 富士通関西中部ネットテック(株)
高橋 正和 日本マイクロソフト(株)
西本 逸郎 (株)ラック
守谷 学 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室
安藤 成純 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室
小林 茉莉子 経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室

第2章 指導者育成セミナー開催概要

概要:

中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図るためには、中小企業のホームページ作成やIT化の支援などを通じて、実際に中小企業のアドバイザー的な役割を担う人々に対して、情報セキュリティに関する知識習得の機会を提供し、中小企業の経営者などに対して、情報セキュリティ対策の必要性をアピールすることが重要であると考えます。

そのため、経済産業省とNPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、2008年度から5年に渡り、地域での指導者育成を目的とした指導者育成セミナーを実施してきたが、今年度も本事業趣旨の基に地域での指導者育成セミナーを実施することとした。

対象者については商工会議所職員や商工会職員、都道府県中央会職員などの中小企業支援を業務等で行っている方々、ITコーディネータ資格保持者や中小企業診断士に加え、地場の情報セキュリティベンダーなど情報セキュリティを指導する立場にある方々にもさらに参加を促し、多くの指導的立場にある方々に対して、情報セキュリティの知識習得と中小企業向け指導法習得を目的として2013年9月から12月にかけて全国で21回開催した。

特に今年度は、情報セキュリティ対策の計画と実施のチェックを行い、業務と情報システムの両面での見直しができる人材の育成に重点を置き、演習を中心とした内容で企業の対策チェックや指導が体得できるプログラムとした。

期間 : 2013年9月～2013年12月

開催数 : 全国各地20都道府県にて21回開催

主催 : 経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会

後援 : 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、
NPO ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、
社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、
開催地の商工会議所・県商工会連合会・NPO 法人

定員 : 各会場 50名～100名

参加対象 : 商工会議所関係者(商工会議所職員、日商マスター等)、商工会関係者、
中小企業団体中央会関係者、ITコーディネータ、EC実践講師、中小企業診断士、
その他中小企業を指導する立場にある人(地場の情報セキュリティベンダーなど)
※ ITコーディネータの受講者には、ITC 協会後援セミナーとして受講修了証を発行し、6.5時間の知識ポイントを付与した。

第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
		会 場		
北海道	北海道 ① (札幌商工会議所)	9月27日(金)	46	12
		北海道経済センター		
北海道	北海道 ② (旭川商工会議所/旭川情報産業事業協同組合)	11月15日(金)	19	24
		道北経済センター		
東北	秋田 (秋田商工会議所)	11月8日(金)	16	22
		秋田市 にぎわい交流館		
東北	宮城 (仙台商工会議所)	11月18日(月)	24	25
		仙台商工会議所		
関東	栃木 (宇都宮商工会議所)	10月11日(金)	33	15
		栃木県産業会館		
	埼玉 (NPO 法人埼玉 IT コーディネータ /さいたま商工会議所/埼玉県商工会連合会 /埼玉県中小企業団体中央会/一般社団法人埼玉県商工会議所連合会/公益財団法人埼玉県産業振興公社)	10月31日(木)	87	20
		大宮ソニックシティ		
	千葉 (柏商工会議所/NPO 法人ちば経営応援隊)	10月8日(火)	76	14
		柏商工会議所		
	東京 (東京商工会議所)	11月11日(月)	95	23
TKP 大手町 カンファレンスセンター				
神奈川 (神奈川県商工会議所連合会/神奈川県商工会連合会 /特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム)	9月24日(火)	90	11	
	神奈川中小企業 センタービル			
静岡 (静岡商工会議所/NPO 法人 IT 静岡/一般社団法人静岡県中小企業診断士協会)	11月20日(水)	35	26	
	静岡県 産業経済会館			

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
中部	愛知 (名古屋商工会議所/一般社団法人中部産業連盟)	10月23日(水)	88	18
		ウインクあいち		
	富山 (富山商工会議所/富山県中小企業団体中央会/一般社団法人富山県情報産業協会/NPO 法人ITコーディネータ富山/株式会社富山県総合情報センター)	11月29日(金)	29	29
		富山県総合情報センター		
近畿	京都 (京都商工会議所)	12月13日(金)	79	31
		京都商工会議所		
	大阪 (大阪商工会議所)	11月5日(火)	85	21
		大阪商工会議所		
兵庫 (神戸商工会議所/特定非営利活動法人ITC近畿会)	10月15日(火)	45	16	
	神戸市産業振興センター			
中国	広島 (広島商工会議所/NPO 法人ITコーディネータ広島)	10月4日(金)	31	13
		RCC文化センター		
	島根 (松江商工会議所)	11月25日(月)	11	28
		松江商工会議所		
四国	香川 (高松商工会議所/特定非営利活動法人ITCかがわ/一般財団法人香川県中小企業診断士協会)	12月5日(木)	19	30
		高松商工会議所		
九州	福岡 (福岡商工会議所)	10月18日(金)	58	17
		福岡商工会議所		
	長崎 (長崎商工会議所/長崎県商工会議所連合会/公益財団法人長崎県産業振興財団)	11月22日(金)	15	27
		長崎商工会館		
沖縄	沖縄 (沖縄県商工会連合会/沖縄県商工会議所連合会/那覇商工会議所/公益財団法人沖縄県産業振興公社)	10月29日(火)	38	19
		沖縄産業支援センター		
		合 計	1,019	---

第4章 指導者育成セミナープログラム

中小企業が情報セキュリティ対策を行うにあたって、情報セキュリティ対策の計画と実施だけでなく、実施している対策をチェックし必要に応じて見直しができる人材の育成に重点を置き、PDCAを意識して中小企業の指導ができる人材の育成に重きを置いたプログラムとした。

標的型攻撃のさらなる蔓延や、スマートデバイスやクラウドサービスを活用するうえでのセキュリティ対策といった、注目される新たな分野の最新情報や活用の注意点などを、改訂したテキストのポイントとともに指導者が知っておくべき最新動向として解説。演習を中心とした講習内容では、実際の業務の中でのチェックのポイントや見直しに関する指導が体得できる構成として、指導者として企業経営者に伝えるべきことを主な内容として実施した。

演習用のビデオについては、過去に作成した演習ビデオ「フラワー通り会の7人の社長たち」、およびその数年後をイメージして作成した「フラワー通り会の7人の社長たち Part2」を再編集し、一度決めたルールや対策を、見直しすることなく漫然と対応している部分を発見できる構成として作成。演習によって見直しすべき課題を見つけ、日々のチェックで見直しができるようなチェックリストを考えることで、中小企業の業務の中でのPDCAを仮想体験するプログラムとしている。

【タイムスケジュール】

◆午前	
9:30～9:45	【オリエンテーション】 ・1日の流れ・配布物の説明(事務局) ・経済産業省(地方産業局)挨拶
9:45～10:00	【テキストを使用した講習会の実践方法】 ・講習会でのテキストの効果的な使い方について、講師用と受講者用の構成内容や解説する際のポイントを説明。
10:00～11:10	・2時間講習プログラムの組み立て方について、サンプルを紹介しながら、内容の説明方法について解説。
11:10～11:20	休憩
11:20～12:00	・重要キーワード(クラウドサービス、スマートデバイス、標的型攻撃)と、対応するテキストのページの紹介。
12:00～13:00	昼食
◆午後	
13:00～14:20	【リスク洗い出し演習】 練習問題として、業務フロー、情報システムの両方の視点で、現状把握をすることの重要性を理解してもらい、リスクの洗い出しを行い発表する(グループ討議、発表)。
14:20～14:30	休憩
14:30～15:30	応用問題として、業務フロー、情報システムの両方を考慮が必要な問題により、リスクの洗い出しを行い発表する(グループ討議、発表)。
15:30～15:40	休憩
15:40～16:55	【チェックリスト作成演習】 課題を基にチェックリストを作成し発表する(グループ討議、発表)。
16:55～17:00	講師講評・セミナー終了

※ 時間帯は開催地ごとの進行により若干変更している。

第5章 作成した教材のポイント

(ア) 指導用マニュアルおよび講習用テキストの改訂内容

前年度において、昨今出現してきた新たな情報を盛り込み、同様内容は整理統合するなどしたうえで、講習の流れに沿って解説しやすく再編集を行っており、構成や基本的な内容は非常に高評価を得ていることから、今年度は大きな改訂は行わず、なおかつ情報やグラフなどのデータを最新化することで、今年度使用するに値する内容に改訂した。

(イ) 演習用ビデオ教材「フラワー通里会の7人の社長たち」ダイジェスト版の概要

平成22年度事業で作成した演習用ビデオ「フラワー通里会の7人の社長たち」および、その数年後の状況を描いた「フラワー通里会の7人の社長たち Part2」を今年度の演習材料として活用することとし、演習に合わせてダイジェスト版として再編集した。

特に、情報セキュリティ対策の計画と実施内容が適切かどうかをチェックできるポイントを抜粋。各企業ごとに数年前と現在で変わってきている事業内容が分かりやすいように再編集し、ルールやポリシーが実態に合っているのか、実行性のあるものとなっているのかについて討議ができるものとした。また、演習では業務フローと情報システムそれぞれにおけるリスクやルールと実態のギャップを洗い出すことを目的としているため、使っている情報システムが理解しやすいかどうかも作成時のポイントとした。このビデオを使って演習を行うことで、業務フローおよび情報システムの両面でのリスクを検討し、各企業ごとの情報セキュリティ対策の確認を行うことで、日々のチェックで見直しを行い、新たなルールや運用方針を考える重要性を理解するとともに、現場での指導に活かせる内容とした。

【参考:主な配布資料(指導者として利用するもの)】

- ・ 指導用マニュアル(講師として使用)
- ・ 講習用テキスト(受講者用として配布する物)
- ・ フラワー通里会の7人の社長たち Part2(DVD)
- ・ IPA 「5分でできる! 中小企業のための情報セキュリティ自社診断」
- ・ IPA 情報セキュリティ対策の基礎知識(DVD)
- ・ IPA I Support チラシ
- ・ IPA 映像で知る情報セキュリティ チラシ
- ・ IPA ここからセキュリティ! チラシ
- ・ JNSA 理解度チェックサイト チラシ
- ・ 日本商工会議所 個人情報漏えい賠償責任保険制度

第6章 指導者育成セミナー参加者に対する支援策

(ア) 指導者登録した方を指導者としてご紹介

全国各地で指導者として活動していただくためのお手伝いとして、本事業の公開 Web サイトにおいて指導者として掲載するほか、JNSA に対して各地域の企業や団体から指導者の相談があった際には紹介を行った。

(イ) 指導のための支援体制

登録指導者専用 Web サイトを設置し、講習テキストや説明用スライドなどの指導するためのツールを無償で提供した。

また、指導をする中で情報セキュリティに関する質問が出た際に専門家に相談できるよう、IPA に相談窓口を設置し、その窓口で専門的な質問への回答を行った。

(ウ) 地域における講習会開催の推奨


地域において中小企業の経営層の方々に「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施できる方を募集し、講習用資料などの提供を行うことにより開催のための支援を実施。


指導者としての経験を積み、技術的にも経験的にも地域で信頼される指導者となってもらう機会として推奨した。

(エ) 講師スキル養成セミナーの開催


前年に引き続き、講師としてより充実した指導を実施していただくためのセミナーを開催した。技術や知識をそのまま伝えるだけではなく、中小企業の方々にもわかりやすい言葉に言い換えたり、受講者のレベルに合わせた伝え方ができるような、講師としてのスキルを養成するセミナーである。特に今年は、与えられたテキストをそのまま説明するのではなく、対象企業や受講者レベルに合わせて、大量の情報を取捨選別し、限られた時間内で分かりやすい構成とするための知識の習得を中心とした。

第7章 各地の開催状況(開催日程順)

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(神奈川) 開催報告書				
日時	2013 年 9 月 24 日 (火) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	神奈川中小企業センタービル 14階多目的ホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	午前:渡部 章 午後:山田 英史		総参加者数	90 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	55 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	12 名	商工会職員	1 名
	日商マスター	3 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	1 名	その他	23 名
主催者・スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 小林 茉莉子 JNSA 井上、持田、林、黒川			5 名
参加者の状況				
<p>今回は会場を変えて神奈川中小企業センタービルで開催した。初回ということで 85%を超える予想以上の出席率であり、アンケートでは会場が狭かったという意見も見受けられた。約半数がリピーターであり、また、約 2/3 弱の方が IT コーディネータ資格保持者であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識も取組も向上してきたとのご意見であった。また、地域における指導的立場の人材については、人材はいるが機能(利用)できる仕組みが定まっていないと感じるとの御意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>過去のセミナーに参加した方と初参加の方が半々であった。アンケートの結果では肯定的なご意見が多くある一方で、「受講者のレベル分けが必要では」「演習やチェックリストの目的・位置付けが不明瞭」「演習で整理がやりにくかった」といったご意見も頂戴した。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(北海道①)				
開催報告書				
日時	2013 年 9 月 27 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	北海道経済センター Bホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	札幌商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	大財 健治		総参加者数	46 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	22 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	2 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	1 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	18 名
主催者・スタッフ	北海道経済産業局 地域経済部 情報政策課 佐々木 隆明 JNSA 林、持田		3 名	
参加者の状況				
<p>リピーターの方が多く、初参加の方が 20 名であり、また昨年度よりも商工会議所職員の方や指導員の方の参加が増えており、参加者層の広がりが感じられた。3 回目以上の参加の方も 22 名と 4 割程度おり、今年度も継続しての参加者も多く見られた。また、IT コーディネータの参加も約半数であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識や取組は向上しているとは感じられないとの御意見であった。会議所主催の情報セキュリティに関するセミナーは年 1 回～5 回程度実施している様子である。</p>				
全体の考察				
<p>午後のディスカッションや講師の実エピソードを交えた話は好評だったようであるが、ビデオ映像が昨年度と変わらないので、毎年新しくしてほしいという意見もあった。また、演習時間を増やしてほしい、用語集がほしいというリクエストもいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（広島）
開催報告書

日時	2013 年 10 月 4 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	広島市 RCC 文化センター 703 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	広島商工会議所、NPO 法人 IT コーディネータ広島、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	31 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	23 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	2 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	9 名
主催者・スタッフ	中国経済産業局 参事官(電子・情報産業担当) 稲原 宏昭 JNSA 林、井上			3 名
参加者の状況				
<p>セミナー参加初めの方が 12 名で半分以上の方がリピーターであり、ディスカッションでは慣れた様子で活発に意見交換を行う様子が見受けられた。今回の参加者は指導経験のある方が無い方の 1/3 程度であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるが、情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えてきたとは思えず、スパイラルアップの必要性を理解していると感じられないとの御意見であった。また、指導的立場の人材の現状については、支援機関などが専門家を探す手立てをよく知らないのではないか、また、ウインドウズ XP の期限切れがきっかけでセキュリティ意識向上に繋がるのではないかと御意見も頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>今回は会場を変えて広島市 RCC 文化センターで行ったところ少し部屋が狭かったが、講師の事例を交えた話しに熱心にメモをとる様子がうかがえた。全体的に和気あいあいとした和やかな雰囲気で行進し、発表では細かい点までそれぞれポイントを押さえて上手に発表されていたのが印象的であった。アンケートでは、毎年内容が変わるので参考になる、内容が充実しているなどの御意見をいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(千葉)
開催報告書

日時	2013 年 10 月 8 日 (火) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	柏商工会議所 401・402 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	柏商工会議所、NPO 法人ちば経営応援隊、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	長谷川 長一	総参加者数	76 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	58 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	9 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	2 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	3 名	その他	14 名
主催者・スタッフ	関東経済産業局 情報政策課 課長補佐 長澤 理香 JNSA 林、菅原		3 名	

参加者の状況

事前申込み 96 名のうち参加者が 76 名と首都圏には 79.2%という非常に高い出席率であった。セミナー受講者の約半数が初めて参加の方であり、また、昨年度同様 IT コーディネータの参加割合が高くなっている。



開催地からのご意見


昨年と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識向上はあまり感じないとの意見であった。今回のセミナー参加者には、商工会議所主催セミナーなどで講師として活用したいとの御意見を頂戴した。

全体の考察


初参加の方が半数以上であったが、ディスカッションではかなり突っ込んだ議論もされている様子であり、発表ではどのグループも簡潔にまとめて発表をされていた。アンケートでは、資料が充実している、ディスカッションでは「気付き」が多かった、実践的なセミナーであった等の御意見が多く、全体的に参加者の満足度は高かったと思われる。

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 栃木 ）
開催報告書


日時	2013 年 10 月 11 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	宇都宮商工会議所 2階 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	宇都宮商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	山田 英史	総参加者数	33 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	11 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	1 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	1 名	中央会職員	1 名
	EC 実践講師	3 名	その他	16 名
主催者・スタッフ	関東経済産業局 情報政策課 課長補佐 長澤 理香 JNSA 林、菅原		3 名	
参加者の状況				
<p>栃木県では昨年度は開催していなかったため、2年ぶりの開催となった。約 2/3 の方が初参加の方であり、宇都宮商工会議所からのチラシ発送の効果か、従来あまり参加されていなかった方々の参加を促すことができたようだ。</p>				
開催地からのご意見				
<p>宇都宮商工会議所へ、本セミナーの問い合わせが多数あったことから、中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上してきていると感じたそうである。会議所主催の情報セキュリティに関するセミナーは、あまり会員からの要求が無いためほとんど開いていないそうであるが、経営者で IT に詳しくない方でも興味や危機感が持てるような内容であればぜひ入門セミナーも誘致したいという御意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>初めての方が多かったためか、午後のグループ演習のチェックリスト作成では難しかった、わかりにくかったという声もいただいたが、全体的には時間配分が良かった、セミナー構成が具体的で良かった、講習シミュレーションでイメージができた、といった好意的な意見がほとんどであった。6グループであったので発表ではほぼ全てのグループに発表していただくことが出来、参加者の満足度は高かったと思われる。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(兵庫) 開催報告書				
日時	2013 年 10 月 15 日 (火) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	神戸市産業振興センター 9階 901 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	神戸商工会議所、NPO 法人 ITC 近畿会、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、 社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	大財 健治	総参加者数	45 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	25 名	商工会議所職員	1 名
	中小企業診断士	6 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	2 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	12 名
主催者・スタッフ	近畿経済産業局 地域経済部情報政策課 課長補佐 大塚 公彦 JNSA 林、井上			3 名
参加者の状況				
<p>兵庫県での開催も一昨年ぶりとなる。初めてセミナーに参加される方が半数以上であり、女性の参加も 9 名と多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識や取組は向上していないとの御意見であった。今年度実施する入門セミナーについては興味をもたれていた。</p>				
全体の考察				
<p>参加者アンケートでは、「情報セキュリティの進め方や考え方を学ぶことができて良かった」「教材が非常に役に立つ、今回はより指導者向けの内容であった」などの好意的な意見が多かった。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（福岡）
開催報告書


日時	2013 年 10 月 18 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	福岡商工会議所 401～403 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	福岡商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	小柴 宏記	総参加者数	58 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	40 名	商工会議所職員	1 名
	中小企業診断士	3 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	4 名	中央会職員	3 名
	EC 実践講師	0 名	その他	11 名
主催者・スタッフ	九州経済産業局 地域経済部 情報政策課 係長 谷富和代 JNSA 林、黒川		3 名	
参加者の状況				
<p>福岡会場でも IT コーディネータの割合が高かった。九州では福岡と長崎のみの開催となったため、熊本・大分・福岡などから来場する参加者もみられた。複数回受講者の割合が多く、初めて参加される方は約 1/3 であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられない、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えているとは感じられないとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>アンケートでは、指導のための資料やツールの提供が活用できるとの意見やグループワークが刺激になり良かったとの意見をいただいた。大会場のためグループ数が比較的多かったが、ディスカッションでは活発な意見交換をされていた様子であった。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛知）
開催報告書

日時	2013 年 10 月 23 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	ウインクあいち 1202 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	名古屋商工会議所、一般社団法人中部産業連盟 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	渡部 章	総参加者数	88 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	59 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	3 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	3 名	中央会職員	2 名
	EC 実践講師	4 名	その他	10 名
主催者・スタッフ	経済産業省 中部経済産業局 情報政策室長 吉兼 智人 JNSA 井上、林、黒川			4 名
参加者の状況				
<p>88名の参加となり、昨年度より10名以上増加した。初めてセミナーに参加した方は38名であり、名古屋でもリピーターの参加が多かった。昨年は名古屋では参加が全く無かった日商マスターとEC実践講師の参加がみられたことが特徴であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>以前と比較して中小企業の情報セキュリティに対する意識は向上してきたと感じるが、前年度と比較して取り組みは向上しているとはあまり感じないとの御意見をいただいた。また、情報セキュリティへのニーズが拡大・拡散している現状の中、入門セミナーにより意識を拡大していくことが重要との御意見もいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>名古屋では毎年セミナーを開催しているが、今年は会場を変えて駅前のウインクあいちでの開催となった。参加者が増加したが会場は昨年度より少し狭くなったため、窮屈な状態でのセミナーであった。</p> <p>名古屋会場の参加者はレベルが高い方から一般的な方まで幅広い参加者であったためか、アンケートでは好意的な意見から演習内容や進め方に関する具体的な意見まで幅広い御意見をいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 沖縄 ）
開催報告書


日時	2013 年 10 月 29 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	沖縄産業支援センター 302・303 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、 那覇商工会議所、財団法人沖縄県産業振興公社、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	山田 英史	総参加者数	38 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	11 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	0 名	商工会職員	1 名
	日商マスター	1 名	中央会職員	1 名
	EC 実践講師	0 名	その他	17 名
主催者・スタッフ	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課 濱川 均 JNSA 林、持田			3 名
参加者の状況				
<p>昨年度より参加者は増えたが、申込みが 53 名ということで出席率はあまり良くなかった。女性の参加が 8 名あり、女性の参加率が高いのは沖縄での開催の特徴である。また、初めての方の参加が 22 名と多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたとあまり感じないが、取組を始めている企業は増えていると感じるとの御意見であった。</p> <p>また、沖縄は零細企業が多く県外でのセミナー受講や有料セミナー受講は厳しいため、入門セミナーのニーズはあると思う、幅広く告知が出来れば多くの受講者を集められるであろうとの御意見も頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>なごやかな雰囲気でのディスカッションが進められていた。企業間の交流の場になったので良かったという御意見も頂戴した。チェックリスト作成演習はわかりにくかった、中小企業向けというより内部監査向けのよう、などの意見も頂戴した。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(埼玉)				
開催報告書				
日時	2013 年 10 月 31 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	大宮ソニックシティ 市民ホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	NPO 法人埼玉 IT コーディネータ、さいたま商工会議所、埼玉県商工会連合会 埼玉県中小企業団体中央会、社団法人埼玉県商工会議所連合会 財団法人埼玉県産業振興公社 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	富田 一成	総参加者数		87 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	64 名	商工会議所職員	1 名
	中小企業診断士	10 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	7 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	11 名
主催者・スタッフ	関東経済産業局 情報政策課 情報企画係長 北城 飛鳥 JNSA 林、菅原			3 名
参加者の状況				
<p>昨年同様、IT コーディネータが 3/4 程度を占めていた。また、初めての方の参加も昨年同様半分以上であり、日商マスターの参加も 7 名と多かった。昨年度と会場は同じだが会議室を広い部屋にしたため、参加人数は多かったがゆとりをもって進行することができた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>前年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識が向上しているとはあまり感じられないが、情報セキュリティに取り組み始めている企業は増えているとの意見であった。「情報セキュリティ」と一言に言っても、幅・奥行きがあるので多くの人への啓発のための入門セミナーは大いに意義があるとの御意見もいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>なごやかな雰囲気で行進し、挙手での発言や質問もあがり活発な様子であった。大都市では参加者のレベルが高いため、座学に関しては物足りない、一般論的であった、という手厳しい意見もみられた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(大阪)				
開催報告書				
日時	2013 年 11 月 5 日 (火) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	大阪商工会議所 地下1号会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大阪商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	渡部 章		総参加者数	85 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	61 名	商工会議所職員	2 名
	中小企業診断士	12 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	3 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	4 名	その他	18 名
主催者・スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課 大塚公彦 JNSA 林、黒川、井上			4 名
参加者の状況				
<p>事前参加申込み 135 名中 85 名の参加となり出席率は 65%であった。やはり IT コーディネータの方の参加が多かったが、日商マスター、EC 実践講師、商工会議所職員の方などにもご参加いただくことができた。セミナー初参加の方は 30 名とリピーターが多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じない、取り組み始めている企業が増えているともあまり感じないとの回答であった。</p>				
全体の考察				
<p>事例を交えた講師の話に笑いもおきるなどなごやかな雰囲気で行進された。熱心な参加者が多く、ディスカッションでは積極的な意見も数多く出て、アンケートでも有意義であった、ディスカッションすることで理解が深まった、等の意見が数多く寄せられた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（秋田）
開催報告書

日時	2013 年 11 月 8 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	秋田市にぎわい交流館 AU 研修室1			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	秋田商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社社商工組合中央金庫			
講師	本川 祐二	総参加者数	16 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	10 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	1 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	5 名
主催者・スタッフ	東北経済産業局 地域経済部 情報・製造産業課長 渡邊 善夫 JNSA 林、持田			3 名
参加者の状況				
<p>秋田県では2年ぶりの開催であった。今回は商工会議所の会場ではなく駅から近い施設の会場を利用したが、天候が悪かったこともあり、事前申込みの約 1/3 が当日欠席となった。青森から参加されている方もいたが、IT コーディネータや地元の企業の方の参加が多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>中小企業の情報セキュリティに対する意識も取組も向上しているとの御意見であった。地域における指導的立場の方はあまりいないとの所感である。</p>				
全体の考察				
<p>初めての方が多かったためか、午前の座学の方が好評であったようである。テキストがわかりやすい、最新の事例が参考になった、以前よりも内容が充実していた、などの意見をいただいた。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京）				
開催報告書				
日時	2013 年 11 月 11 日（月） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	TKP 大手町カンファレンスセンター			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	東京商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	富田 一成	総参加者数	95 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	65 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	9 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	1 名	中央会職員	1 名
	EC 実践講師	0 名	その他	22 名
主催者・スタッフ	経済産業省 商務情報政策室 情報セキュリティ政策室 小林 茉莉子 JNSA 林、菅原、竹内			4 名
参加者の状況				
<p>参加者は95名と今年度の指導者育成セミナー最多の人数となった。IT コーディネータの割合が多かったが、中小企業診断士も9名と多く参加された。指導経験がある人と無い人がだいたい半々程度の参加であったが、グループディスカッションでは積極的な検討が行われていた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>情報セキュリティに対する中小企業の意識も取組も向上していると感じるとの御意見であった。東京という立地のためか、商工会議所主催の情報セキュリティに関するセミナーの開催も5～10回と多いようである。</p>				
全体の考察				
<p>会場を東京商工会議所から変更したところ、かなり手狭な結果となってしまった。今年度は東京では1回のみで開催であったが、複数回開催して欲しいとの要望もいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(北海道②)				
開催報告書				
日時	2013 年 11 月 15 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	道北経済センター 2階中ホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	旭川商工会議所、旭川情報産業事業協同組合、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社社商工組合中央金庫			
講師	西本 逸郎	総参加者数	19 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	4 名	商工会議所職員	1 名
	中小企業診断士	1 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	10 名
主催者・スタッフ	JNSA 林			1 名
参加者の状況				
<p>旭川では初めての開催であったが、札幌や函館からいらしている参加者もみられた。19 名と人数は少ないが、ほとんどが初めての参加者で和やかな雰囲気が進められた。IT コーディネータは 4 名で、地域の中小企業の方の参加が多かったようである。</p>				
開催地からのご意見				
<p>情報セキュリティに対しては、積極的な企業とそうでない企業との差が大きくなっていると感じるとの御意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>人数が少なく午後の演習は 3 グループだったので、演習は余裕をもって全グループが発表することができた。アンケートでは、社内とは違う意見を聞くことができて良かった、教材が刷新されていて良かった、講師の話しが大変参考になった、毎年新しいネタで受講が楽しみ、というような意見をいただいた。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（宮城）
開催報告書

日時	2013 年 11 月 18 日（月） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	仙台商工会議所 7階大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	仙台商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	嶋倉 文彦	総参加者数	24 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	13 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	5 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	3 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	1 名	その他	5 名
主催者・スタッフ	東北経済産業局 地域経済部 情報・製造産業課長 渡邊 善夫 JNSA 林、黒川			3 名
参加者の状況				
<p>仙台セミナーは他会場よりも遅れて開催が決定したためか、例年よりも参加者が減少傾向であった。初めての方がちょうど半数であり、リピーターのほとんどは IT コーディネータであった。5つのグループでのディスカッションとなったが、活発な意見交換がうかがえた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたとは感じないが、取り組みを始めている企業は増えてきていると感じるという回答であった。情報セキュリティに関するセミナーの後援団体として応援しているが、主催団体とまでは至っていないという御意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>アンケート回答では、2時間講習の組み立て例が参考になった、コンテンツが充実しているなどの意見をいただいた。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（静岡）
開催報告書

日時	2013 年 11 月 20 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	静岡県産業経済会館 第1会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	静岡商工会議所、NPO 法人 IT 静岡、一般社団法人静岡県中小企業診断士協会、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	長谷川 長一	総参加者数	35 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	17 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	12 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	6 名
主催者・スタッフ	JNSA 林、黒川		2 名	
参加者の状況				
<p>静岡では3年ぶりの開催となった。今回はIT静岡と静岡県中小企業診断士協会に後援に入っただき幅広く告知を行った結果、参加者は35名と予想以上に多かった。35名中24名が初参加であり、過去にセミナー受講経験が無い方を誘致することができた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>中小企業の情報セキュリティに対する意識も取り組みも向上しているとは感じられないという意見であった。また、地域における指導的立場の人材の現状については、地元にいるのかもしれないが個々で活動されているので把握しにくいとの御意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>アンケートでは、時間不足、演習時間が短いという声もあったが、全体的に有意義だった、また静岡で開催して欲しいという意見もいただいた。静岡県中小企業診断士協会からの参加者が多く、全体的に和やかな雰囲気であった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（長崎）
開催報告書


日時	2013 年 11 月 22 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	長崎商工会館 3階会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	長崎商工会議所、長崎県商工会議所連合会/公益財団法人長崎県産業振興財団 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	大財 健一	総参加者数	15 名	
セミナー参加者	IT コーディネータ	6 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	0 名	商工会職員	1 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	1 名
	EC 実践講師	0 名	その他	7 名
主催者・スタッフ	九州経済産業局地域経済部 情報政策課 課長補佐 宮原泰宏 JNSA 林		2 名	
参加者の状況				
<p>長崎県では事業開始以来2度目、4年ぶりの開催となった。初めての参加者が約半数で、3グループで行った。人数が少ない分なごやかな雰囲気で行われ、休み時間には全員が名刺交換している様子もうかがえた。地元の企業の方や、熊本県から参加されている方も数名いらっしゃった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して、情報セキュリティに対する中小企業の意識も取り組みも向上していると感じるとの御意見であった。製造業においては、請負元から取引条件に含まれるケースが増加しているようである。情報セキュリティ対策についての指導者を育成するためのセミナーは他に見当たらないので、今後も継続して開催して欲しいとの御意見もいただいた。</p>				
全体の考察				
<p>アンケートでは、教えることについて整理ができた、実作業がありわかりやすかった、昨年度よりもPDCAの仕組みが取り入れられていて良かった等、好意的な評価が多かった。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(島根)				
開催報告書				
日時	2013 年 11 月 25 日 (月) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	島根県商工会館松江商工会議所			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	松江商工会議所、 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	大財 健治		総参加者数	11 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	6 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	0 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	1 名	その他	5 名
主催者・スタッフ	中国経済産業局 地域経済部 和崎裕美 JNSA 持田、黒川			3 名
参加者の状況				
<p>11 名中、約半数の 6 名が IT コーディネータであった。初参加が 4 名であった。</p> <p>悪天候であったこともあり、半数近くの欠席があったため、1 グループ 3 名と 4 名 2 つの 3 グループでの実施と少人数になった。交通の便の関係から、2 名が最終発表前に退室し、最終発表時は 1 グループ 3 名となった。参加者が少ない分、講師の目がよく行き届いた。</p> <p style="text-align: right;"><写真なし></p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上や、取り組み始めている企業数の増加もあまり感じないとの回答であった。参加者が少なかった点については、IT に関する企業の意識がまだまだ薄く、IT を活用していないところが多く、また前向きに考えていない状況にあるという御意見であった。意識をあまり感じないため参加者が集まりにくいなどから情報セキュリティに関するセミナーは開いていないようである。</p>				
全体の考察				
<p>午前中は、時間に余裕をもって進行した。午後講師説明はスケジュールどおり進行したが、発表の時間がオーバーした。途中休憩を 5 分短くし、最終発表が手際よく行われたことで、全体として 25 分早く終了した。すべてのセッションで全グループが発表を行った。</p> <p>参加者の方々も活発に意見交換を行っていたが、議論するには 1 グループあたりの人数が少なかったようである。アンケートでは、中小企業にも説明しやすいよう具体的な方策を欲しいといった回答があった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(富山) 開催報告書				
日時	2013 年 11 月 29 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	富山県総合情報センター 1F セミナー室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、社団法人富山県情報産業協会 NPO 法人ITコーディネータ富山、株式会社富山県総合情報センター 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫			
講師	本川 祐治		総参加者数	29 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	17 名	商工会議所職員	0 名
	中小企業診断士	1 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	3 名	中央会職員	1 名
	EC 実践講師	0 名	その他	7 名
主催者・スタッフ	中部経済産業局 情報政策室長 吉兼 智人 JNSA 林			2 名
参加者の状況				
<p>今年北陸3県では富山県のみでの開催であったが昨年度より参加者は少し減少した。29名中、半数以上が IT コーディネータで、石川県からいらしている方も見受けられた。人数が少ない分、午後の演習では全グループに発表していただくことができた。</p>				
				
開催地からのご意見				
<p>情報セキュリティに対する中小企業の意識も取り組みも向上してきたとは感じないという御意見であった。情報セキュリティに関するセミナーを開催しても参加者は少なく、地域における指導的立場の人材についても需要が見えないので何とも言えないようである。</p> <p>富山では中高校生を中心にスマートデバイスやSNSに対するセキュリティに感心が高まってきているようで、来年以降は企業における感心も高まることが予想され、企業向けのセミナーの必要性も高まるのではないかと御意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>午前中は講師独自の資料による解説も取り入れ、アンケートでは「最新情報を得ることができて良かった」との意見をいただいた。その他、講師として進める上で考慮するポイントの解説があり良かった、異業種の方とディスカッションできたのは良かった、等の御意見もいただいた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(香川)

開催報告書

日時	2013 年 12 月 5 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	高松商工会議所 201 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	高松商工会議所 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	渡部 章		総参加者数	19 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	12 名	商工会議所職員	1 名
	中小企業診断士	2 名	商工会職員	0 名
	日商マスター	0 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	5 名
主催者・スタッフ	JNSA 林、井上			2 名
参加者の状況				
<p>事前申込みが 20 名で 19 名が参加と出席率が非常に高かった。初参加の方は 12 名であり、やはり IT コーディネータの割合が高かった。香川という立地のため、岡山や徳島から参加している方も見受けられた。ディスカッションでは4グループ全チームに発表していただいた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較すると情報セキュリティに対する中小企業の意識も取り組みも向上してきたとは感じないという御意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>初めてのが多かったが、比較的情報セキュリティに詳しい方が多かった様子である。自発的に質問が出るなど積極的な姿勢も伺えた。アンケートでは演習がおもしろかった、毎回内容が変わっていて役に立つ、ツールを提供してもらって有り難い、といった好意的な回答が多かった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー(京都)				
開催報告書				
日時	2013 年 12 月 13 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 00			
場所	京都商工会議所 2 階教室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	京都商工会議所 独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、 株式会社商工組合中央金庫			
講師	西本 逸郎		総参加者数	79 名
セミナー参加者	IT コーディネータ	44 名	商工会議所職員	4 名
	中小企業診断士	10 名	商工会職員	7 名
	日商マスター	3 名	中央会職員	0 名
	EC 実践講師	0 名	その他	17 名
主催者・スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課 大塚公彦 JNSA 林、持田、井上			4 名
参加者の状況				
<p>今年度の京都セミナーは例年になく参加者が多く、事前申込みで 95 名の参加登録で内 79 名が参加であった。例年どおり県内の指導員研修という位置付けであったことで、会議所・商工会の指導員の参加が多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上や、取り組み始めている企業数の増加もあまり感じないとの回答であった。地域における指導的立場の人材については、十分にいるとの回答であり、専門家や企業 OB など対応できる人材は豊富にいるという意見であった。</p>				
全体の考察				
<p>京都会場は他会場よりも開始が 30 分遅いため内容に調整が必要だが、講師の時間配分の調整の結果特に違和感無く進められたようだ。アンケートでは、グループ討議が良かった、事後フォローが充実している、ビデオ教材が楽しみである、新しいトピックが入っていて参考になった、等の意見をいただいた。</p>				

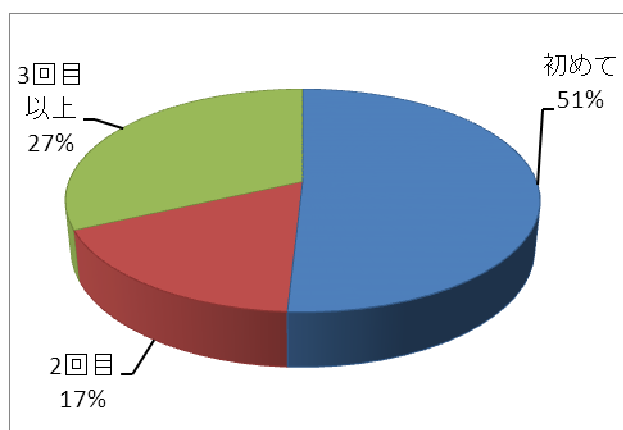
第8章 指導者育成セミナー実施状況

セミナー参加者に対して受講後アンケートを行い 960 名分を回収し、今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。参加の状況及び、受講をした感想について集計し、実施効果の把握とともに今後の課題などについて分析を行った。

今年度は、21 会場で 1,429 名申込みがあり、そのうち 1,019 名の参加(出席率 71.3%)となった。前年度は、21 会場で 1,502 名が申込み、うち 1,028 名参加であり、前年度に比べて参加者数は若干少なくなったものの、1 会場当りの平均参加者数は 48.5 名と前年(44.7 名)、前々年(44.5 名)よりも徐々に向上。申し込みからの出席率も 71.3%であり昨年(71.5%)とほぼ変わらず効率的な運営を行うことができた。

(ア) 過去のセミナー参加状況

回答項目	回答数
初めて	468
2 回目	159
3 回目以上	293
合計	960

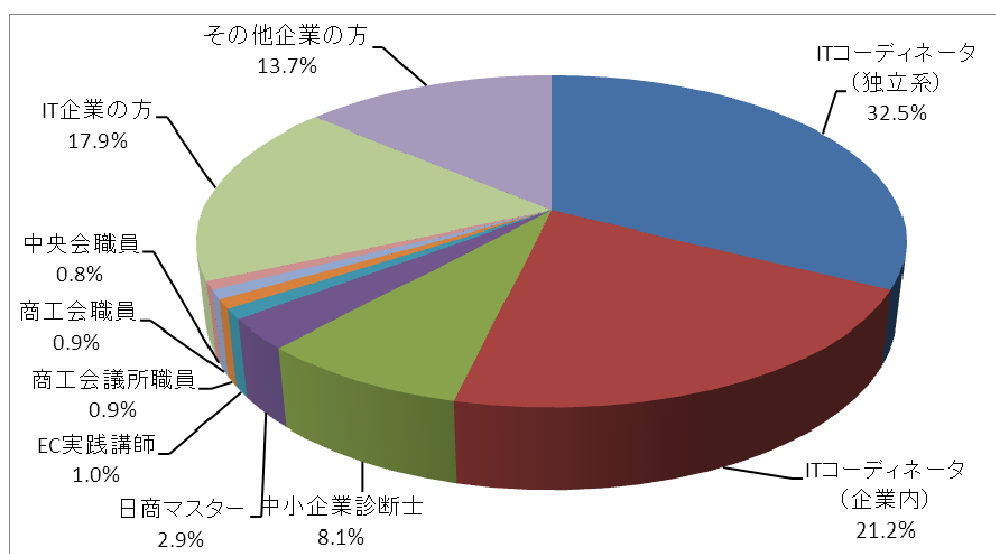


「過去にも参加」が座学・演習併用形式を採用した 2009 年度から継続して増加傾向にあり、今年度も前年度とほぼ同等の 49% (前年度は 50%)。特に毎年のセミナープログラム検討に当たっては、過去参加者が受講しても退屈しない内容になるよう変更しており、指導力アップを期待する過去のセミナー参加者による座学・演習併用形式の評価が更に浸透し、地域での口コミ等も奏功した結果によるものと思われる。

(イ) 参加者の立場

回答項目	回答数
ITコーディネータ(独立系)	357
ITコーディネータ(企業内)	233
中小企業診断士	89
日商マスター	32
EC実践講師	11
商工会議所職員	10
商工会職員	10
中央会職員	9
IT企業の方	197
その他企業の方	151
合計	1,099

※ 複数回答があるため合計は参考値

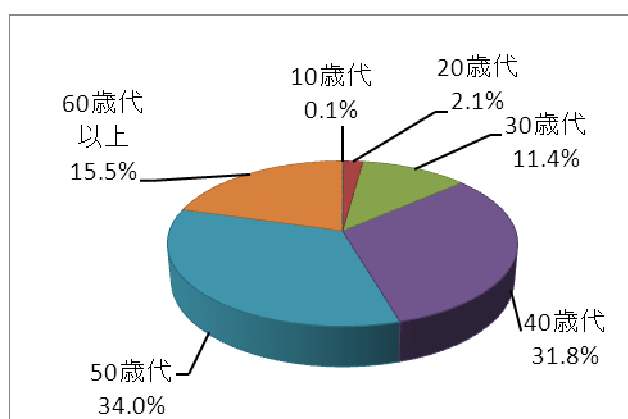


本事業趣旨に沿って、商工会議所、商工会職員及びITコーディネータなど、地域でIT化を支援している人材に参加してもらうことを想定して開催した。実際の参加状況は、ITコーディネータの参加が5割以上、中小企業診断士が8%と、例年と同様の傾向で参加をいただいた。

課題は、中小企業経営者と密接な関係を持つ商工会議所等職員とIT企業やその他企業からの参加者の増加であろう。それぞれ保有スキルや日常での活動内容が異なるため、セミナープログラムや事後のフォロー方法の検討を考える必要がある。このため今回は入門セミナーを試験的に開催し、これまで参加が少なかった立場の方々が興味を持ってもらえるのかを検討することとした。

(ウ) 参加者の年代

回答項目	回答数
10 歳代	1
20 歳代	19
30 歳代	105
40 歳代	292
50 歳代	312
60 歳代以上	189
合計(回答数)	918

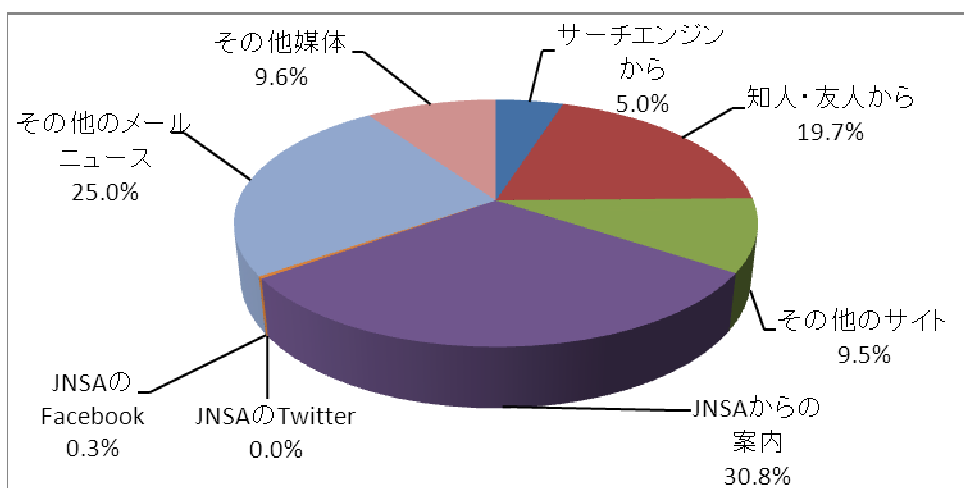


参加者の年齢層は、ほぼ例年と同様の傾向となっており、今年も50歳代が34%と一番多く、次に40歳代の32%と、40・50歳代で70%近くを占めている。また、30歳代も若干前年より減少したものの11%と二桁の構成比率で参加しており、幅広い年代層の参加があったともいえる。

しかし、地域での指導的役割を考えた場合には、参加者の地域での活動影響度や立場との相関などを考察し、指導者に必要な人材の発掘と育成をさらに検討する必要がある。例えば今後一層参加してほしいと考えている商工会議所等職員やIT企業、その他企業からの参加者の場合には、実務者の参加が多いことが予想されるため、若い年代にいかに参加しやすくするかという検討も必要となるであろう。

(エ) セミナーを知ったきっかけ

回答項目	回答数
サーチエンジンから	48
知人・友人から	190
その他のサイト	92
JNSA からの案内	297
JNSA の Twitter	0
JNSA の Facebook	3
その他のメールニュース	241
その他媒体	93
合計	964



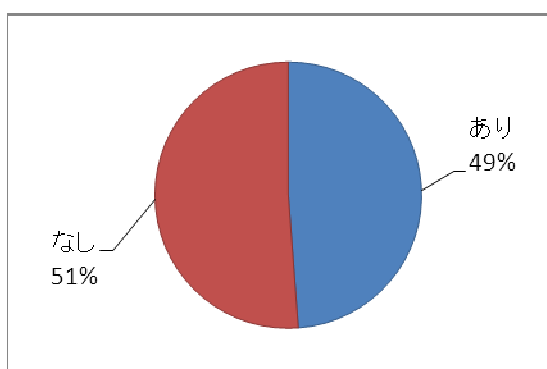
前年同様、JNSA 等からのメールによる案内とホームページ閲覧が多く、ほぼ同様の比率となっている。友人・知人からの紹介といった口コミ比率を上げるために、前年度より JNSA の Facebook や Twitter などにも利用し始めているが、まだまだ計画的な告知メディアとしては活用できていないため、活用のための検討が必要であった。基本的な集客活動としては、メールでお知らせを行うことで、ホームページに誘導したり、地域団体で協力し合い各ホームページでの相互リンクを行うなどの集客方法が、参加者の層を考えた場合にはまだまだ効果が高いと考えられ、同様内容のセミナーでの有効な集客手段といえる。

今後は、増加してほしい立場の方たちが目にしやすい機会を考えたうえで、SNS などのマーケティングツールも含めて活用して行くべきであろう。

(オ) 過去に指導した経験

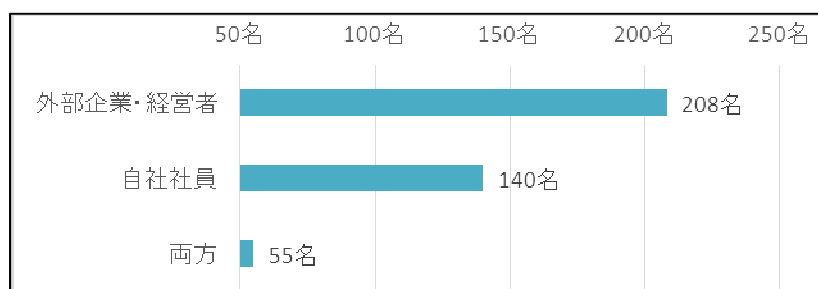
① 指導経験の有無

回答項目	回答数
あり (※ 次設問に内訳)	450
なし	472
合計	922



② 経験ありと回答した方の実施対象者別内訳

回答項目	回答数
外部企業・経営者	208
自社社員	140
両方	55
合計	403



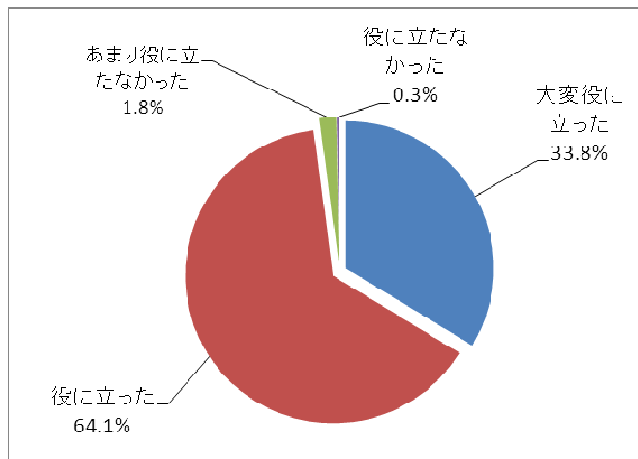
指導経験は 49%があると回答し、前年の 44%より増加。なおかつ外部の方向けに実施した経験者は、自社社員向けの両方経験者も含めて 263 名。全アンケート回答者の 27%であった。社内向けに行う場合と外部の方に行う場合の違いとしては、外部の方向けでは指導側と受講側で共有している情報が少ないため、受講する側の立場に立って講習をしたり、補足説明を行う必要が出てくる。このような背景から、今年度開催した講師スキル養成セミナーでは、多様な受講者を意識した研修プログラムを組み立てる手法の解説も行った。

(カ) セミナー内容

ここからの設問については、セミナーの中でのそれぞれの講習内容や演習プログラムが、中小企業の指導の観点で利用できそうかについて調査した。

① テキストを使用した講習会の実施方法

回答項目	回答数
大変役に立った	319
役に立った	606
あまり役に立たなかった	17
役に立たなかった	3
合計	945



前年度までの傾向として、セミナー受講後に地域で講習会をする際には、受講者用テキストを使って講習を行っていただくことが多く、なおかつ長くても2時間までが多いという傾向から、2時間程度でテキストを使った講習会の実践方法を解説した。

まず、講習会でのテキストの効果的な使い方について、講師用と受講者用の構成内容や解説する際のポイントを説明。2時間講習プログラムの組み立て方について、サンプルを紹介しながら、内容の説明方法について解説を行った。また、講習会では最新動向を聞きたいという声も多いことから、重要キーワードとして、クラウドサービス、スマートデバイス、標的型攻撃の3項目を素材として具体的に解説した。

テキストの棒読みにならないようにするために、最近のトレンドの解説を行うことは重要であるが、具体的な事例や技術情報は変化が激しいため、盛り込むための工夫をする余地がある。

【意見抜粋】

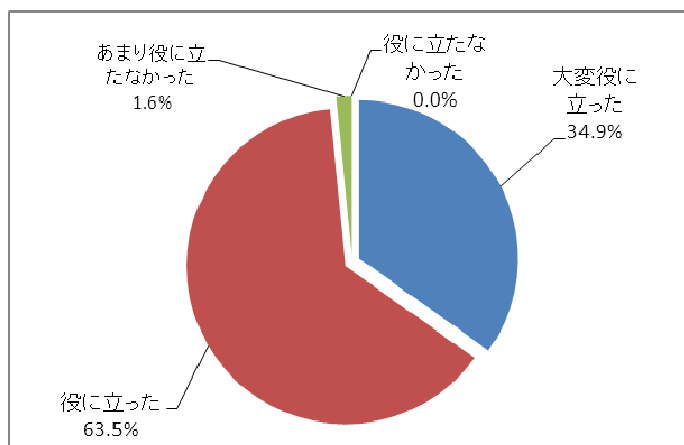
■ プログラム構成について

- ・ セキュリティ対策項目一覧がテキストと関連付けされているので、活用しやすい。

- ・ 個別にセミナーを実施するに当たり、構成案系が含まれていた点は参考になった。
 - ・ 実際に各受講者に「プログラム案」を作成してもらうとより現実的で実践的になったと思う。
- 内容への意見について
- ・ 標準型攻撃メールは中小企業にはあまり関係ないと思ったが、そうではないことに少し驚いた。
 - ・ スマホ(Android)のセキュリティ対策が役に立った。
 - ・ BYOD など新しい情報を得ることができた。スマートフォン向けセキュリティリスクなど最新の情報を得ることができた。
- 紹介できる事例掲載について
- ・ セキュリティ対策や重要キーワードの解説について、中小企業の社員等が理解できる事例や解説がもっとあるとよい。

② リスク洗い出し演習

回答項目	回答数
大変役に立った	326
役に立った	594
あまり役に立たなかった	15
役に立たなかった	0
合計	935



今回の演習タイムスケジュールは、リスクを洗い出すフェーズと、洗い出したリスクに対してチェックリストを作成するフェーズに分けて実施した。まず最初のリスク洗い出し演習では、ビデオを視聴して、業務の中に潜んでいるリスクの洗い出しを行った。特に今回は、業務フローと情報システムの両面の視点でのリスクを洗い出すことで、問題の真因を発見。さらに問題に対して行ったセキュリティ対策についての有効性や実施度を測るために“聞く”“見る”“試す”という方法で確認できるようにした。

対策を行う上での基本となる部分であり、経験者も多いことから演習はおおむねスムーズに進んだが、業務フローと情報システムを分けて考えることや、“聞く”“見る”“試す”という方法で確認することは、より具体的でわかりやすいと好評であった。

【意見抜粋】

■ プログラム構成について

- ・ グループ発表に対して、講師からのコメントがあった方がよい。
- ・ 資産の洗い出し→ぜい弱性→リスク評価→対策→受容の扱いといった一連の流れの学習があると良かった (ISMS の簡易版イメージ)。
- ・ リスクアセスメントでまずつまづくのは情報資産の洗い出しであるため、その点を演習化してもらいたい。

■ 内容への意見について

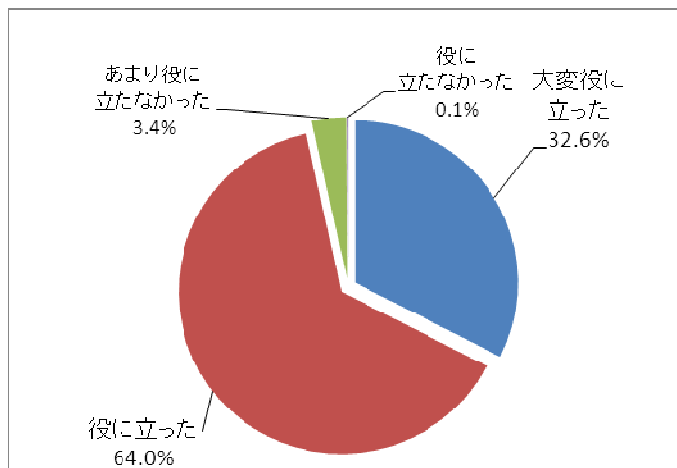
- ・ 用語の定義を明確にしてほしい。例えば脅威やインシデントなど、具体例を提示してあるとわかりやすい。
- ・ 出来ればリスクの大小に関する説明(代償の考え方や判別方法、対処など)がほしい。
- ・ 演習ではインシデント分類をもう少し絞り、シチュエーションを中小企業にして具体的な内容を深く考えさせるとよいのではと思う。

■ その他の意見

- ・ やれやれと言っていた方ですが、やってみるとなかなか難しいことがわかった。

③ チェックリスト作成演習

回答項目	回答数
大変役に立った	300
役に立った	589
あまり役に立たなかった	31
役に立たなかった	1
合計	921



今回のセミナーの目的ともいえるチェックリストの作成を演習の最後に行った。対策として行っているチェックやルールの運用を確認し、ルールが現実的でなくなっていないか、チェックが形骸化されていないかを確認し、見直しが必要な部分の検討を行うことで、PDCA の C・A を意識し、日常的に見直しする必要性を学んでもらった。

前のフェーズで行った演習でのリスクを前提にして、その組織に見合ったチェックリストを作成したが、前提条件が明確でない部分については一般的な対策となりがちであった。現実の社会でもすべての情報を漏れなく知っていることはまずありえないであろうし、セミナーとしても資料として配布することはできない。議論をする中で対象組織が独自に抱える課題を想定しながら、その都度確認をすることが重要であることを指導者に伝えるのが重要であると考えられる。

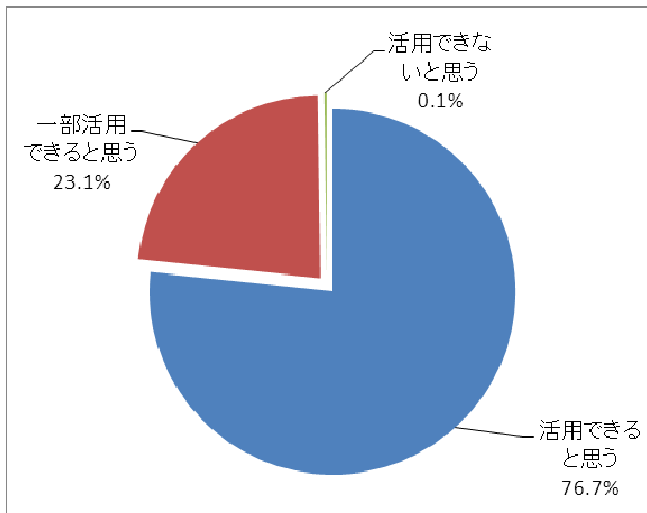
【意見抜粋】

- プログラム構成について
 - ・ チェックリストの業務フローと情報システム管理の違いがわかりにくかった。
- 内容への意見について
 - ・ チェック方法について、「見る」「聞く」「試す」の言い換えが新鮮に感じた。守り易い対策をたてるには必要。
 - ・ チェック方法の定義が良く分からず、どれに該当するのか分からず選択時に困りました。具体例を増やして頂けるとわかり易い。
- その他の意見
 - ・ 社内ルールが遵守されているか否か、PDCA の C は具体的に行なうことが大切と再認識した。
 - ・ 実際、顧客や支援先からチェックリストの作成を依頼されたことがあったのでとても役立った。

(キ) 使用教材や今後の指導

① テキストは今後の指導において活用できそうか

回答項目	回答数
活用できると思う	718
一部活用できると思う	216
活用できないと思う	2
合計	936

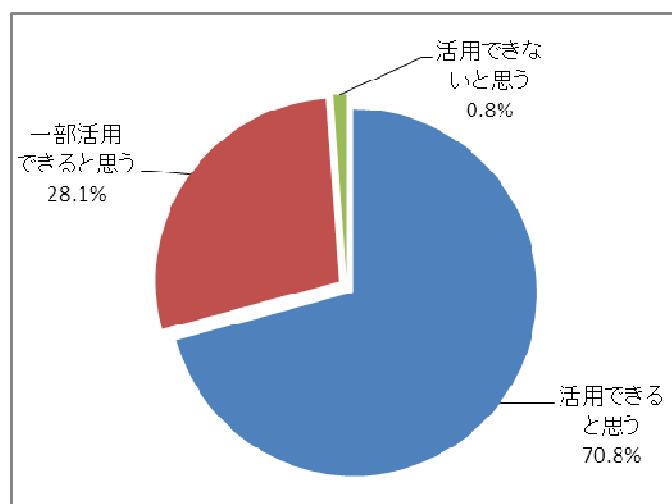


テキストの活用可能性を確認したところ、「活用できると思う」(76.7%)、「一部活用できると思う」(23.1%)と、ほとんどの方に支持を得た。今年度は大きな構成変更は行わなかったが、毎年できる限り最新データやスマートデバイス・クラウドといったこれから注目されるIT利用に関する情報を追加し、講師としてのトピックスも含めて掲載してあることで、中小企業を指導することが多い経験者ほど使いやすいと感じてもらっている。

一方で前年度までの意見として、「ボリュームが多すぎてすべてを説明できない」、「中小企業の社長には説明しても分からない」などが挙げられていたため、今年度は「テキストを使用した講習会の実践方法」を午前のプログラムに入れることで、講習の経験が少ない方にもテキストの活用イメージを持ってもらいやすかったようである。

② ビデオは今後の指導において、ケーススタディ演習として活用できそうか

回答項目	回答数
活用できると思う	640
一部活用できると思う	254
活用できないと思う	10
合計	904



演習用ビデオの活用可能性を確認したところ、「活用できると思う」(70.8%)、「一部活用できると思う」(28.1%)と、ほとんどの方に支持を得た。今回は2年前に作成した「フラワー通り会の7人の社長たち」とその続編を演習用に再編集したものであり、演習通りに利用するには使いやすいとの声が多かった。

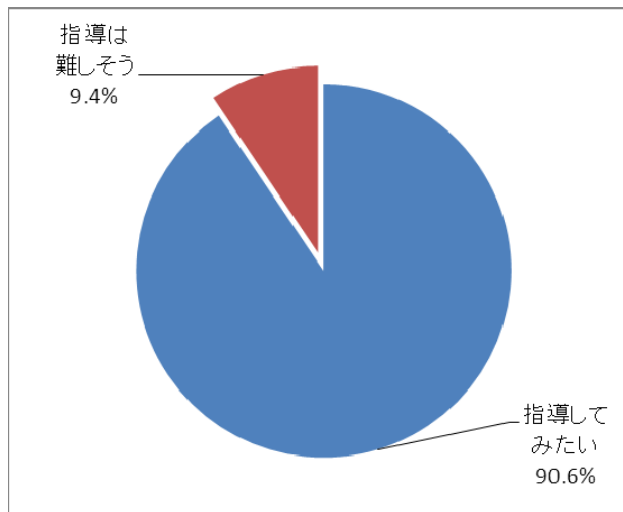
しかし、中小企業の経営者等に対して短時間で情報セキュリティ啓発を行うには、ビデオを見てもらうことが有効だとの意見が多く、新しい内容での最新版のビデオを希望される方が非常に多い結果となった。

【意見抜粋】

- ・ 数分しか見ていないが活用できると思う。
- ・ 毎年新しいものを供給してほしい。
- ・ 情報セキュリティの意識のないもう少し大きい中小企業(50人～200人くらい)をターゲットにしているため、ビデオとの設定が合わず、シチュエーションもピンとこなかった。

③ 2時間講習の例を活用して、実際に指導してみたいと思うか

回答項目	回答数
指導してみたい	808
指導は難しそう	84
合計	892



指導してみたいという方は90.6%と前年度の84.6%よりも若干上回っており、事業目的の一つである指導者としての意識向上が図れてきている。指導者登録制度などは高評価であり、機会があればぜひ指導してみたいと考えている方は増加している。

しかし、実際に指導するには、知識・経験の不足を不安視している方が非常に多いのも現実であり、誰でも実施できるマニュアル化の要望や、具体例やルールなどの良い見本が欲しいといった意見もあった。特に最新動向を解説するための事例紹介を希望する方は非常に多いが、自ら日頃から情報収集したり、常時知識の習得を続けておかなければ、与えられた情報だけでは説明できないのも事実であるため、どこまでを準備していくかは検討の余地がある。

更には、中小企業に対しては時間を割いてもらうことが難しい様子であり、ビデオ視聴と簡単な解説で1時間程度で終わる内容の提供を要望する声も挙がっていた。

【意見抜粋】

■ 実施希望の意見

- ・ よく実情を知っている会社や社内になら指導できそうです。

■ 実施困難の意見

- ・ 集客が困難なため。
- ・ 臨機応変に応える自信がない。
- ・ ポイントの絞り込みが大変に感じた。
- ・ 対象者の水準のばらつきが大きい場合が多く、そろえられないケースがある。
- ・ 1時間から1時間半程度が、1回あたりの限度であるため。

(ク) セミナー全体に対する感想や意見

総合的な意見としていただいているもののほとんどが、好評価の意見であり、特に、テキストは中小企業向けで講習で使いやすいとの評価を継続してもらっている。また、前年度まで実施した内容を踏まえ、その年度ごとに必要な情報セキュリティ課題の中からポイントを絞ってテーマを決める演習については、評価が高く、もっと時間を割いても受講したいという意見が多かった。

本事業も6年目に入り、毎年指導する方のスキルアップを中心に考えてプログラムを考えており、継続して受講いただいている方からは「毎年アップデートされた内容で非常に参考になる」、「時代に合った内容となっておりすぐに役立てられる」と有効性を評価いただいている。また、初回受講の方も多いことから、初めて参加してもある程度理解できるような教材作りを意識し、テキストの改訂や演習資料の開発を行ってきたところである。

今年度も千名を超える方に受講いただいております。より良い内容とするための厳しい意見も含めて、非常に多くの参考になる意見をいただいております。それだけでも本事業への期待を感じさせるものとなっている。紙面の都合上、以下にさらに改善するための意見として代表的なものを抜粋して記載させていただきます。

① テキストの内容について

- ・ 大変分かり易いテキストと講習内容でとても参考になりました。私もぜひ講習会を開きたいと思いました。
- ・ 「テキストを読めば参考になりそう」という感触を持つことができた。
- ・ 講習会向けの資料・ツールが充実しており、また内容的にもわかりやすいものになっている。ぜひ活用させてもらいたい。
- ・ 受講者にとっては、用語がわかりにくいと思いますので、索引をもう少し充実させたり、用語集をつけてもいいと思います。

② プログラム内容「テキストを使用した講習会の実施方法」について

- ・ 2時間講習の組み立て例が今までになく良かったです。参考にさせていただきます。
- ・ スマホ、クラウドなど今 HOT な話題がわかりやすく説明されて、非常によかった。
- ・ スマートデバイスやクラウドサービスなど最近のトピックについては、全体で2時間ぐらい割いて、もっと詳しい説明をうかがいたかったです(事故事例とその対応など)。
- ・ お客様の抱えている問題(テーマ)、例えば、個人情報管理、スマホセキュリティ対策、管理者育成等々に対応できそうな構成案を提示してもらえればもっと使いやすくなると思う。

③ プログラム内容「リスク洗い出し・チェックリスト作成演習」について

- ・ セキュリティ対策一覧を3分類にしているのは有益であると考えます。業務フローとシステムに分けたリスク特定は適正であり、勉強になりました。
- ・ セキュリティ対策項目一覧で、技術的、物理的、組織的、人的で分類した切り口は大変参考になりました。対策範囲も明確な表であり、今後の活動の中で利用させていただきます。
- ・ 脅威分析のパラタイムはとても分かり易い。演習、設問が、部署別に設定されているところ、インシデント事象があらかじめ記入されているところが演習を進めやすくよい
- ・ 前回(昨年)参加時より、PDCA の仕組みが取り入れられてよくなったと思います。資料は活用できると思います。
- ・ 今年は、リスクアセスメントの方法～有効性の確認まで、実際に活用できる内容でとてもよかったですと思います。昨年までのビデオによるリスクチェックも目に見えるチェックで良かったのですが、指導者育成セミナーとしては今年の内容の方がわかりやすかったと思います。

④ セミナー全体への意見

- ・ 毎年参加していますが、実際に中小企業への指導を想定して研修のプログラムが組まれていたので良かったと思います
- ・ 去年に比べて指導者が実際演習をやる際の課題などについてよく考えられていると思った(例:カリキュラムの例の提示等)。
- ・ 毎回参加させていただいていますが、毎回その時代にあった情報セキュリティ課題の話が追加されており、また、進め方も工夫、洗練され、感心、感謝しています。特に今年は大きく変わってまた良かったです。
- ・ ポジティブなスタンスで指導する重要性が理解できた。
- ・ 中小企業に働きかけるセキュリティとして資金(コスト面)が話になる。少しのコストで対応できる策も教えて頂きたいです。
- ・ 指導者向けセミナーとしては今回の技術的な内容と構成等が参考になりましたが、やはり具体的な指導対策としては別途のプレゼンテーション方法等のセミナーを必要と感じました。

⑤ 指導用ツール等の要望

- プレゼン演習も行われるようだが、その様子のエッセンスを関係者が動画で見れるようにして、全体の底上げを図っては如何か。
- リスクアセスメント、有効性測定の実施例をダウンロードできるようにしてほしい。有効に活用できると思います。
- フラワー通り会の Part3 ビデオを作成いただきたい(中小企業の経営者向けに非常に評判がよい。わかりやすい)。
- IPA の質問相談窓口に問い合わせた(他の方が)結果を一覧で見ることができたら、質問の傾向が分かって有難いので、メーリングリスト、もしくはホームページで見られるようにしてほしい。

第9章 開催会場からの意見

開催に協力いただいた商工会議所、商工会連合会等(21 団体)にお聞きした、地域の中小企業における情報セキュリティ対策の現状を踏まえつつ今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。

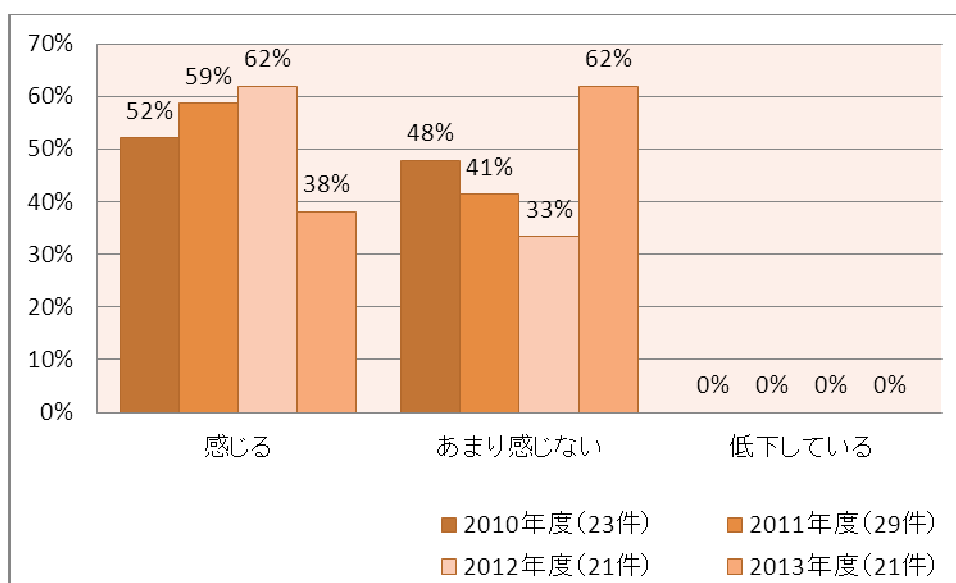
なお、複数回答設問については設問回答数合計が 21 件以上、回答がなかった設問は回答総数の 21 件に満たないものがある。

(ア) 昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
8	13	0

事故や実害があつて初めて対応を考える企業はまだ多く、昨年よりも意識の向上を感じるとの回答割合が若干減少。以下の過去 4 年間のグラフを見ても毎年増加傾向であったが、今年度は減少した。それだけ一般的には情報セキュリティ意識を持つ重要性が上がっているのに比較して、中小企業の意識はまだまだ上がっていないという状況がうかがえる。

個別意見としては、関心を持つ企業は出てきてはいるが、積極的な企業とそうでない企業の差が大きくなって来ているのが現状のようである。自らにも起こりうることだという認識を持たせる機会を増やすためにも、本セミナー等を通じて継続して意識アップをしていく環境を作っていく必要がある。



【自由意見】

- ・ モバイルやタブレット、クラウドなどの活用を意識しているように感じ、それに伴うセキュリティに関心があると見受けられる。
- ・ 本セミナー普及活動をしていたとき、問い合わせを多く受けました。
- ・ 支援機関のセミナー時アンケートでも要望が多くなってきた。
- ・ セキュリティに対して積極的な企業とそうでない企業の差が大きくなっている。

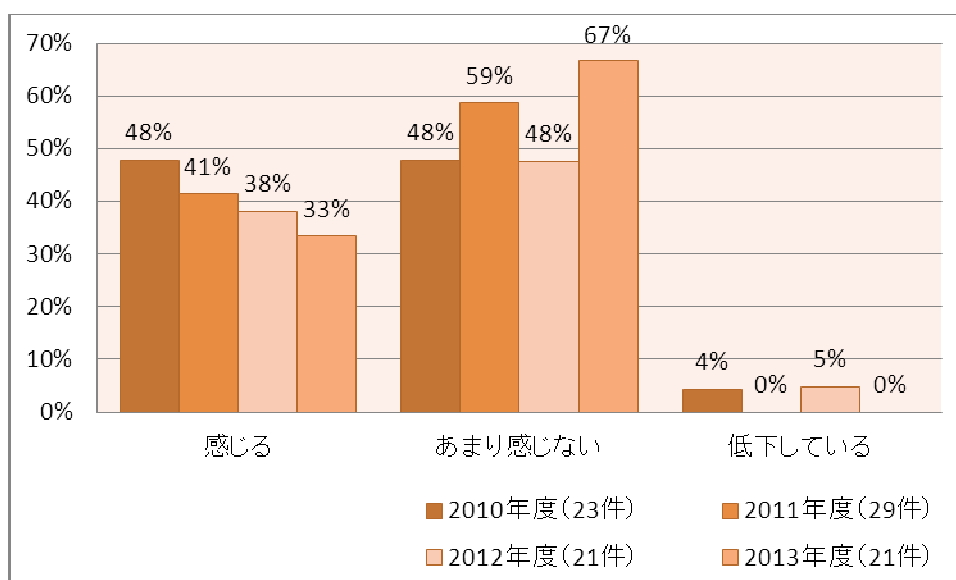
(イ) 昨年度と比較して情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えていると感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
7	14	0

毎年このセミナーを実施しており、参加者が増えているため実感として感じているという意見もあるが、以下の過去4年間のグラフを見ても全体としては下降傾向。

地域企業からの情報セキュリティ対策の情報提供の要望が少なく、そのためさらにセミナー等の機会を作らないという負のスパイラルに陥っている可能性がある。

今後、対策を継続して強化して行くためには、定期的な状況調査により、客観的な視点での適切な施策や活動の提言を行っていく必要があるだろう。



【自由意見】

- ・ 製造業においては、請負元から取引条件に含まれるケースが増加しています。
- ・ モバイルやタブレット、クラウドに加え、SNS などによる情報拡散に対する意識が高まっているように思われる。
- ・ 情報セキュリティに関するセミナーを開催しても参加者が少ない。
- ・ スパイラルアップの必要性を理解しているとは感じられない。

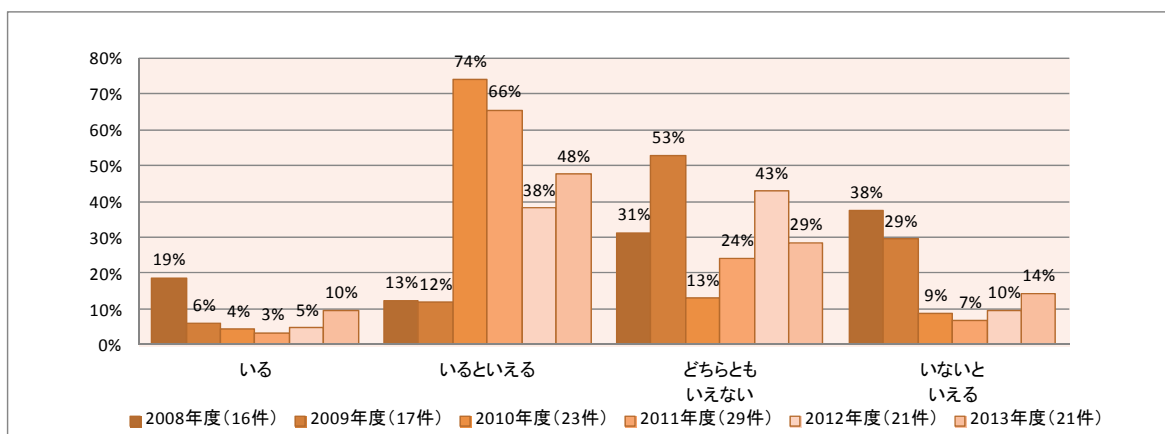
(ウ) 地域における指導者の立場の人材の現状についてどう思うか？

十分に いる	十分では ないが いる	どちら とも いえ ない	あまり いな い
2	10	6	3

まだまだ十分にいるという地域は少ないが、ITコーディネータなどの能力を持った方の活用に期待する声があった。

人材がいても、その方たちを活用するための仕組みがないのではないかという意見もあり、さらには中小企業および商工会議所等では、必要とされる業務経歴や適切な情報セキュリティ知識を持った人材と出会う機会が少ないため、相談したくともできない現状があるようだ。

各地域のコミュニティや指導体制を含めて、構築を考える必要がある。



【自由意見】

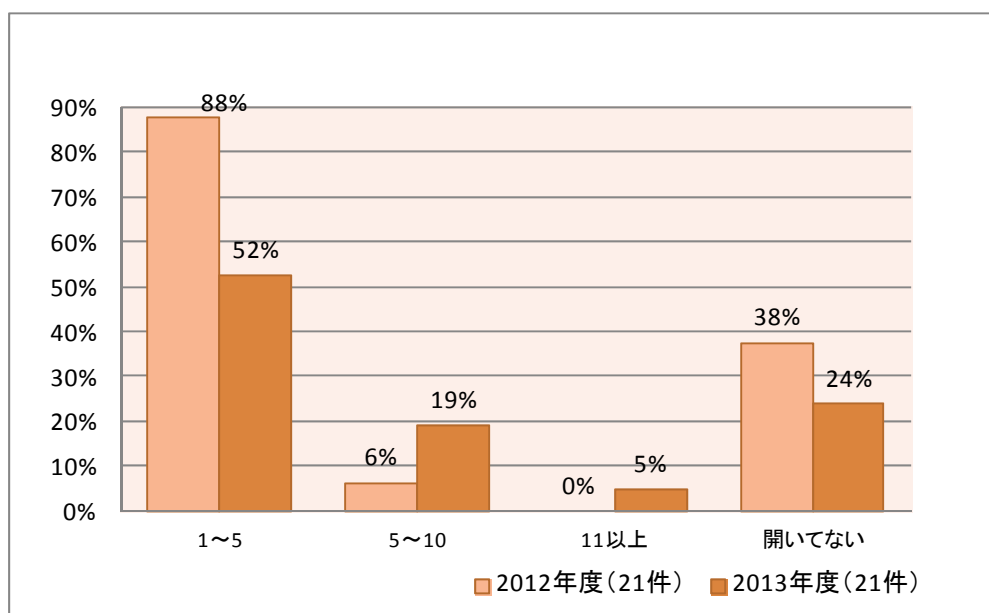
- ・ 専門家や企業 OB など対応できる人材は豊富。
- ・ 人材はいるが、機能(利用)できる仕組みが定まっていないと感じる。
- ・ 地元にいるのかもしれないが、把握されにくい、個々に活動しているようだ。
- ・ 需要が見えないので十分かどうか判断できない。
- ・ 支援機関などが専門家を探す手だてをよく知らないのではないかと思う。

(エ) 各団体が主催の情報セキュリティに関するセミナーの年間開催数

1～5 回程度	5～10 回程度	11 回以上	開いていない
11	4	1	5

開催頻度は少ないものの、ある程度は情報セキュリティに関するセミナーを開催されている。ただし、経営・税務相談やIT活用といった業務で優先的に必要とするセミナーがどうしても多くなるという意見が多い。そのため情報セキュリティ単独でのセミナーでは集客も難しいため、経営に必要な内容との同時開催をしたり、関連する内容として講義内容を盛り込むなどしなければ、なかなか単独でのセミナー開催は難しいとの意見もある。

業務に関連した内容にしたり、短時間で行うことができる資料やセミナー内容の検討も必要かもしれない。



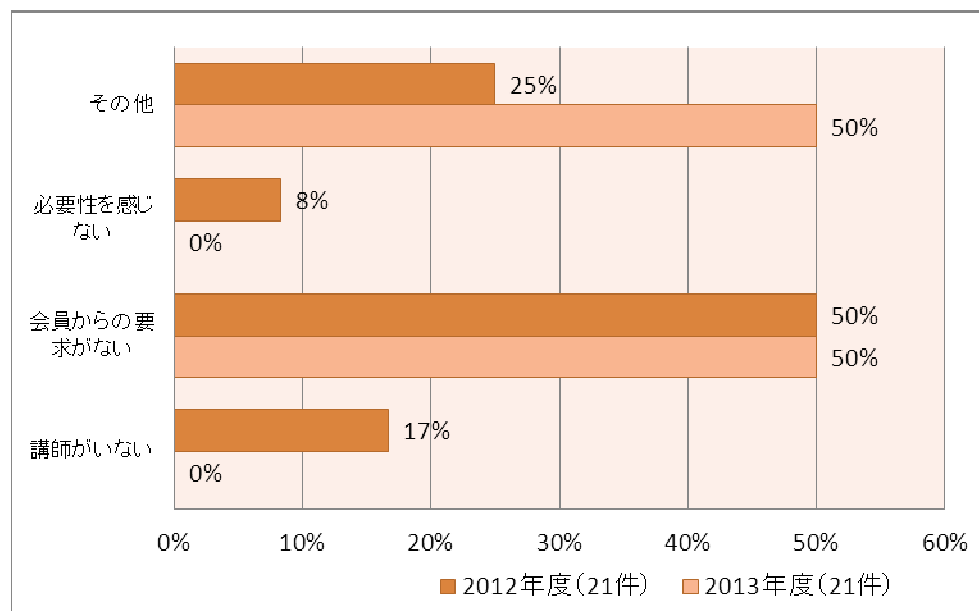
(オ) 前記設問で「開いていない」とお答えの団体の理由（複数回答あり）

講師がいない	会員等からの要求がない	必要性を感じない	その他
0	3	0	3

開催していない理由は様々だが、「IT コーディネータとして対応する範囲だという意識がなかった」、「一般向けセミナーは会員個々の活動に任せている」、「意識をあまり感じないため参加者が集まりにくい」などの理由が挙げられた。団体が積極的に実施するという認識は低く、希望があれば検討するという意識であるため、まだまだ地域で主体的に活動いただくべき各団体の意識向上も必要だと感じる。

希望が出てこないから実施せず、そのため情報セキュリティ意識は低いままで他の地域に比べて取り残されてしまうという負のスパイラルに陥らないためにも、本事業で指導者となっていた方々と、各団体が一体となって中小企業への意識啓発を行っていけば、本来必要な情報セキュリティ意識醸成に拍車をかけることができるはずである。

各地域の特性を把握しながら、主体的に活動していただける環境作りを更に強化して行くべきであろう。

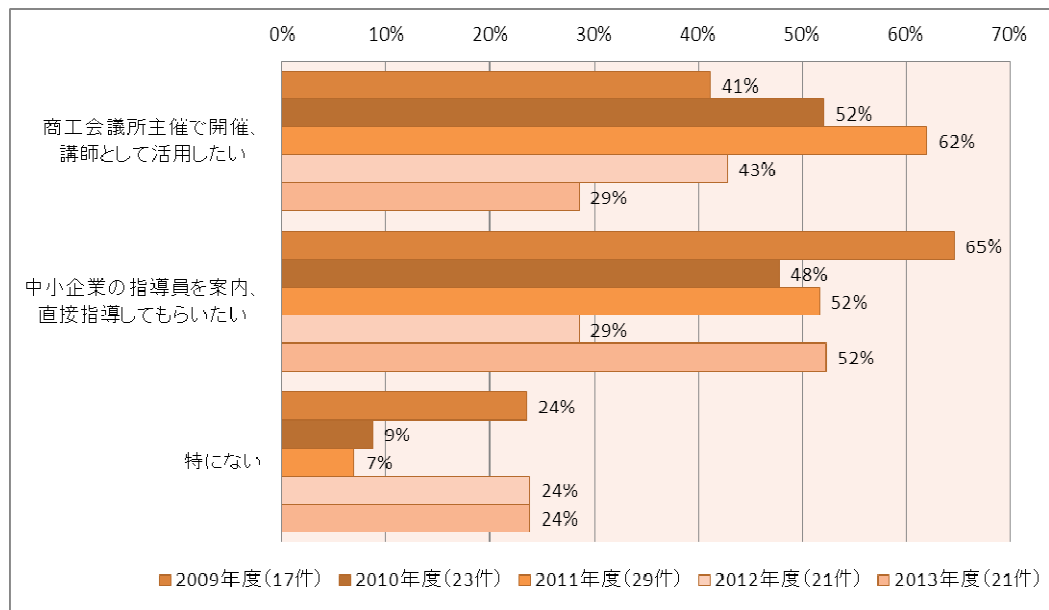


(カ) 指導員として対応できる方がいた場合、次のような講師等の対応機会はあるか。

対応項目	回答数
商工会議所などが主催でセミナー等を開いて講師として活用したい	6
中小企業に指導員がいる事を案内して、講師として活用したい	11
特にない	5

活用を考えているという意見は、前年に比べて増えていない。これは講師個人の能力の問題ではなく、団体として情報セキュリティのセミナー等を実施することは、企業の要望の少なさなどから考えて集客ができないだろうとの判断であるようだ。

前項目でも記載したが、本事業で指導者となっていただいた方々と各団体が一体となって啓発セミナー等を開催することで、中小企業に必要な情報セキュリティ意識の向上を担うことができるはずである。



(キ) その他の要望事項

- ・ 情報セキュリティ対策についての指導者を育成するためのセミナーは他に見あたらないので、今後も継続して開催されることを希望します。(多数あり)
- ・ 富山では中高校生を中心に、スマートデバイスやSNSに対するセキュリティに関心が集まっている。来年以降、企業におけるスマートデバイスの活用が高まり、セキュリティに対する関心も大きくなっていくと思われる。そこで企業向けのセミナーなども必要性が高まっていくのではないかと考えます。
- ・ 中小企業のセキュリティに対する意識に大きな開きがある。意識が低い企業には「入門セミナー」が有効だと考えるため、開催を希望する。(3件)
- ・ 新聞などの媒体を巻き込んだ告知など、幅広く告知が出来れば多くの受講者を集められると思います。

第10章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見

今年度の促進事業も、各地の商工会議所及び都道府県中央会と連携を行ったことから、地域での情報セキュリティ対策の促進のために、各地の商工会議所・都道府県中央会が把握している現状についてアンケート調査を行い、今後より効果的な対策を実施するための現状分析を行った。

なお、回答がなかった設問については設問回答数合計が回答総数の54件に満たないものがある。

(ア) 県別の回答状況

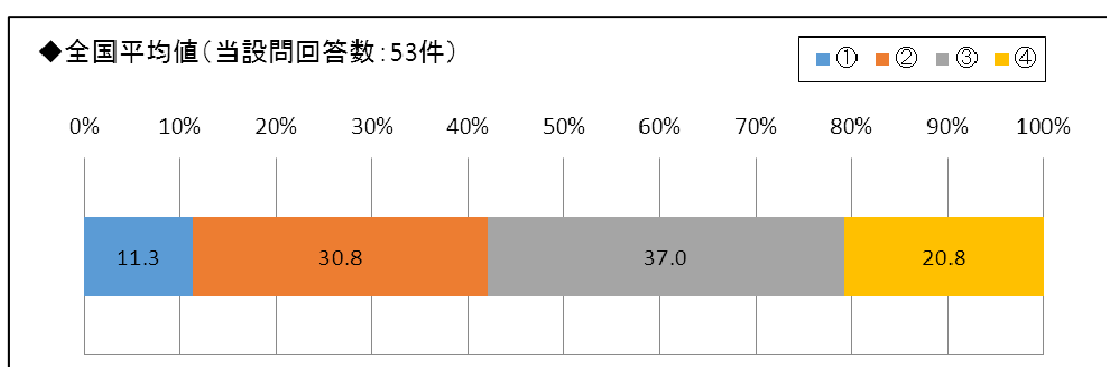
		北海道									
	商工会議所	1	1								
	中小企業団体中央会	1	1								
	中小企業団体中央会	0	0								
		東北		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県		
	商工会議所	3	1	0	0	2	0	0			
	中小企業団体中央会	1	0	0	0	1	0	0			
	中小企業団体中央会	2	1	0	0	1	0	0			
		関東		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
	商工会議所	23	2	2	2	6	2	2	2	3	
	中小企業団体中央会	15	2	1	1	5	1	1	1	2	
	中小企業団体中央会	8	0	1	1	1	1	1	1	1	
		新潟県		山梨県	長野県	静岡県					
	商工会議所	0	0	2	2						
	中小企業団体中央会	0	0	1	1						
	中小企業団体中央会	0	0	1	1						
		中部		愛知県	岐阜県	三重県	富山県	石川県			
	商工会議所	7	2	3	0	1	1				
	中小企業団体中央会	4	1	2	0	0	1				
	中小企業団体中央会	3	1	1	0	1	0				
		近畿		福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	
	商工会議所	5	1	0	1	0	1	2	0		
	中小企業団体中央会	1	0	0	0	0	0	1	0		
	中小企業団体中央会	4	1	0	1	0	1	1	0		
		中国		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県			
	商工会議所	5	1	1	1	1	1				
	中小企業団体中央会	1	0	1	0	0	0				
	中小企業団体中央会	4	1	0	1	1	1				
		四国		徳島県	香川県	愛媛県	高知県				
	商工会議所	2	0	0	1	1					
	中小企業団体中央会	0	0	0	0	0					
	中小企業団体中央会	2	0	0	1	1					
		九州		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	
	商工会議所	7	2	0	2	0	1	1	1		
	中小企業団体中央会	4	1	0	1	0	0	1	1		
	中小企業団体中央会	3	1	0	1	0	1	0	0		
		沖縄		沖縄県	不明・その他						
	商工会議所	1	1	0							
	中小企業団体中央会	1	1	0							
	中小企業団体中央会	0	0	0							

回答総数:	54 件
商工会議所:	28 件
中小企業団体中央会:	26 件

(※地域の区分は、経済産業局管轄区域に基づく)

(イ) 傘下中小企業・団体における IT 利活用状況はどのレベルにあると思うか。傘下中小企業・団体全体を 100%と考えた場合、次の4段階に相当するレベルの企業はどの程度の割合かを回答してもらった。

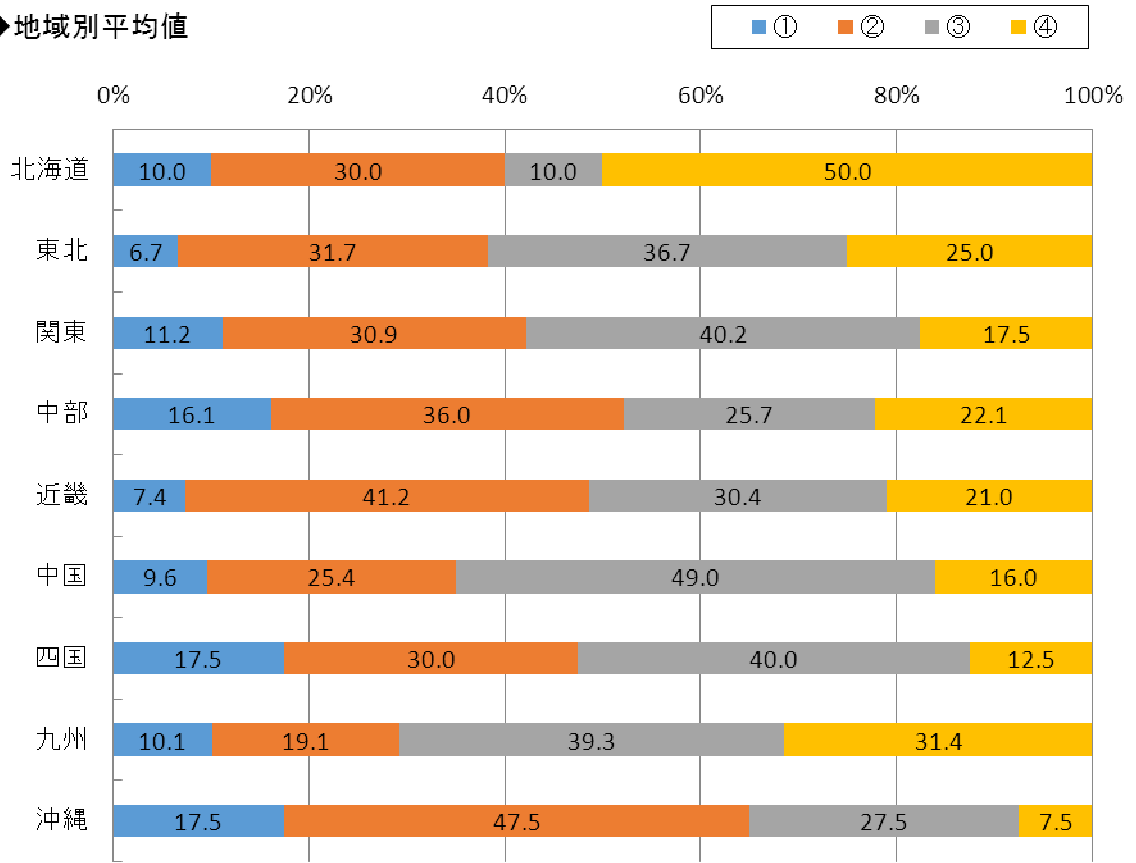
- ① Web ショップによる顧客開拓、協力企業間で EDI 構築による商取引を駆使するなど、ビジネスに存分に活用している。(IT 活用度 高)
- ② ホームページによる宣伝や、電子メールでの情報交換を積極的に行なうなどビジネスに利活用している。(IT 活用度 中)
- ③ 社内の業務システムを中心に利用している。(IT 活用度 低)
- ④ ほとんど利用していない。(IT 活用度 無)



このアンケート項目では、情報セキュリティへの意識及び対策状況には、IT活用の度合いが大きく影響するといえることから、会員企業の IT 活用状況を聞いている。

IT 活用度 高①と IT 活用度 中②の合計で、42.1%とほぼ横ばいで、業種や規模によって活用するITは踊り場に来ている感がある。これは、次ページの地域別のグラフを見ても同傾向である。しかし今後、個人でも利用が進むクラウド・スマートデバイスといった IT のビジネスでの活用方法や、それが与える働き方の変化による IT 活用状況を定期的に観測して行く必要があるだろう。その変化によっては、対策を重視する企業数や内容の変化が表れてくる可能性がある。

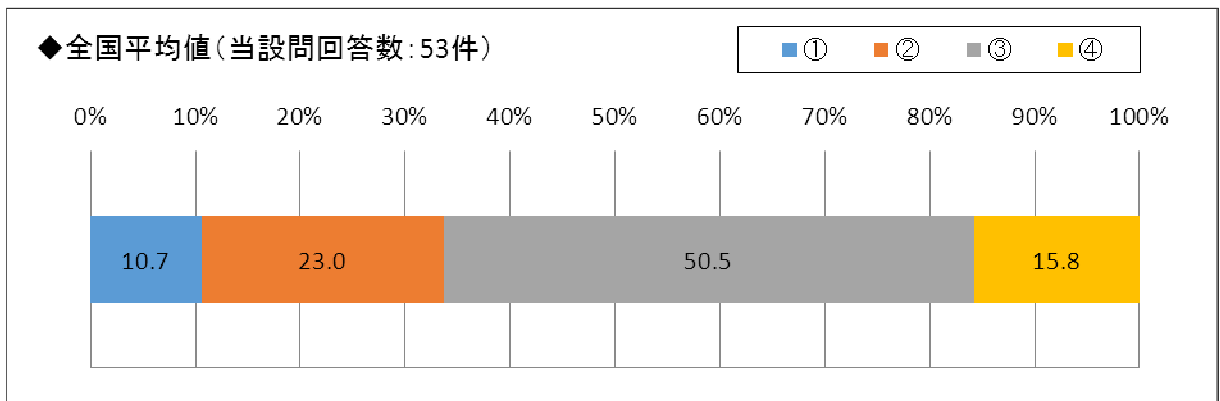
◆地域別平均値



(ウ) 傘下中小企業・団体における情報セキュリティ対策度は、どのレベルにあると思うか。傘下中小企業・団体全体を100%とした場合、次の4段階に相当するレベルの企業はどの程度の割合かを回答してもらった。

【回答肢】

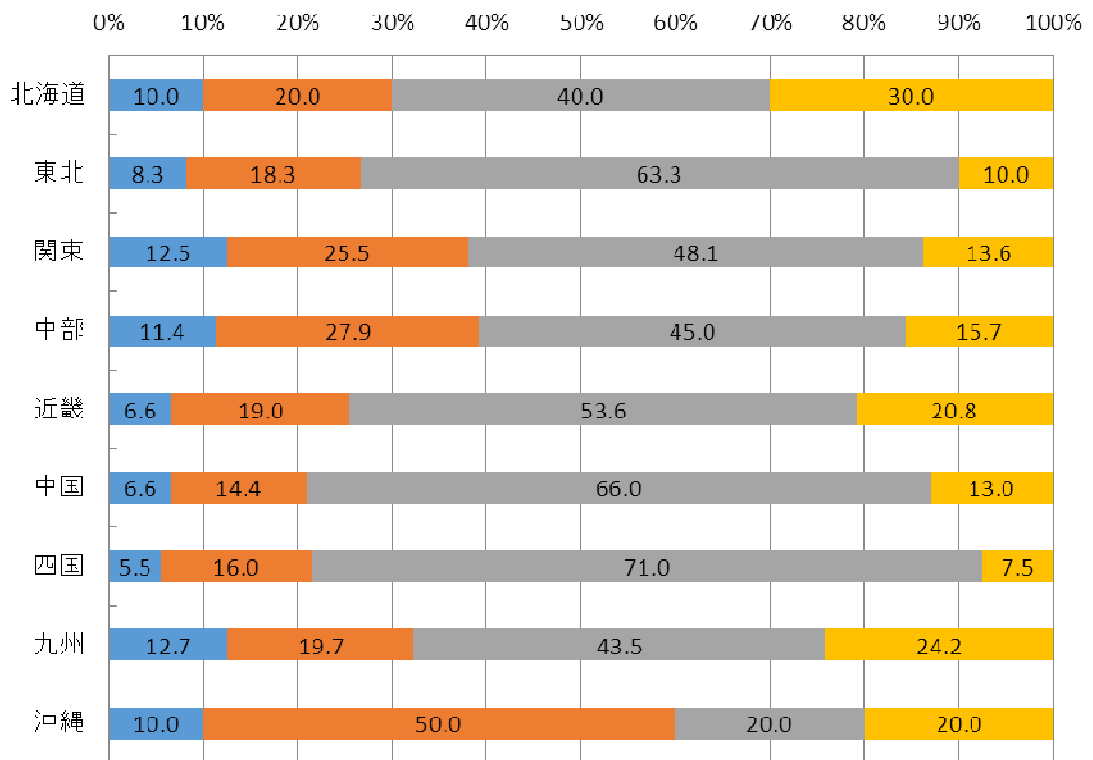
- ① 会社全体として対策が実践されると共に、定期的な見直しがされ、適切な運用が行われている。
- ② 会社全体で対策は行われているが、定期的な見直しが行われていない。
- ③ 対策は行われているが、ウイルス対策など一部のみに留まっており、会社全体での対策は不十分である。
- ④ ほとんど対策が行われていない。



商工会議所等の地域団体が会員企業との日常の交流から感じている定性的な情報であり、個別の事象を具体的にチェックしたものではないが、おおむね地域間の特性をつかむことができる情報として分析を行った。

前年までも同項目で調査を行っているが、前年からは大きな変化がない。ただ、「ほとんど対策が行われていない」という項目は、前年度が19.9%であったが今年度は若干減少しているのはよい傾向であり、今後注視する必要がある。しかし未だに3分の2が「一部のみで不十分」も含めて対策が不十分であることから、中小企業では全国的に情報セキュリティ対策が大きく遅れているといわざるを得ない。

◆地域別平均値



(エ) 傘下中小企業・団体における情報セキュリティ対策の理解度を、次の5段階で一番近いと思われるレベルにチェックしてもらった。

① 経営者の意識の持ち方や対策のための知識

どの企業も 高い	一部の企業を 除き全般的に 高い	どちらとも いえない	一部の企業を 除き全般的に 低い	どの企業も 低い
0	5	15	31	2

どちらかという低い状況だという意見がデータから見てとれるが、低いと答えた企業の割合は増えており、情報セキュリティ対策の重要性が高くなってきているほどには経営者の意識は高くなっていないと感じられているようだ。

個別の意見としては、中小企業の中でも比較的大きな企業と小さな企業に乖離が感じられ、それが広がってきているという意見もあり、経営に対して情報セキュリティ対策が大きな影響を与えることが、日常的に伝えられていない可能性がある。その格差に応じた啓発施策や指導方法が必要となってきたといえるだろう。

② 従業員の意識の持ち方や対策のための知識

どの企業も 高い	一部の企業を 除き全般的に 高い	どちらとも いえない	一部の企業を 除き全般的に 低い	どの企業も 低い
0	5	22	25	1

おおむね経営層と同等の回答数であり全体的に意識は低く意識格差も大きい。経営者と同じく、情報セキュリティ対策の重要性ほどは、企業の意識や対策が進んでいない可能性がある。

取引企業への影響など情報セキュリティの脅威や現状を正確に伝えるとともに、企業ごとに実施している対策が、本当に有効性があるのかを具体的に確認してもらい見直すことができるように指導して行く施策がまだまだ必要と言える。

(オ) 地域における指導者的立場の人材の現状

① 指導的立場の人材の有無

十分に いる	十分では ないが いる	どちら とも いえ ない	ほとん ど いな い
2	24	18	10

十分にいと回答した団体もあったが、情報セキュリティ分野における指導的立場の人材は増加しているわけではなく、専門業者などに頼る必要はこれまで以上に広がっている。特に対策が高度かつ広範になってきている現状から、指導者の専門業種や経歴を明示するほか、情報セキュリティをいくつかの専門分野に細分化し指導できる分野を明示するなど、必要な知識と対策のマッチングを行えるようにすることも必要となってきた。

【自由意見】

- ・ 人材育成のための支援メニューの創設
- ・ 公的登録制度(実績評価付)
- ・ どの業種にも通じる資格認証制度なるものの設置と企業への要請・周知、公的に中小企業への加点制度なるものの構築

② 指導的立場の人材に期待する指導内容

対策項目	回答数
経営層の意識の持ち方や体制・ルール作りといった組織的対応	38
情報システム及び通信ネットワークの運用管理	13
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守	7
クラウドやスマートフォン、タブレット端末などのモバイルといった新しい情報技術の活用	25
建物やPCの管理などの物理的・環境的な対応	26
情報セキュリティ上の障害・事故対応、BCP(事業継続)対応	32
企業が知っておくべき情報セキュリティ関連法令・制度	18
その他	1

「経営層の意識の持ち方や体制・ルール作りと言った組織的対応」が継続してトップであり、そもそもの情報セキュリティ自体に関心を持ってもらうような指導が必要と考えられている。

また、障害や事業継続への対応が2番目に多い状況であり、クラウドなどの活用や、PCの管理といった項目も上位にきている。XP パソコンのサポート終了を間近に控えた時期であり、パソコン自体の入れ替え期に入っている影響で、インフラの見直しへの注目度が高まっていると考えられる。

(カ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要と思うか。いくつかの選択肢を示して、必要と思われる項目を挙げてもらった。(上位3つまで複数回答可)

対策項目	1位	2位	3位
経営者への情報セキュリティ意識啓発活動	29	7	6
経営者への情報セキュリティ対策方法の教育	2	5	3
従業員への情報セキュリティ意識向上・啓発活動	5	19	3
従業員への情報セキュリティ対策実践教育	4	9	12
市場や顧客からの信頼・評価	4	4	3
情報セキュリティ対策技術の習得・向上、対策ツールの利用・開発	1	1	4
企業内の体制整備	3	3	10
情報セキュリティ関連法制度の整備	2	0	1
地域での指導者育成や確保・サポートセンターの充実	2	3	5
対策支援費等の補助制度の充実	3	3	5
その他	0	0	1

まずは前年と同様、経営者への啓発活動が圧倒的多数となった。次いで、従業員への啓発と対策方法の教育という意見が多く、経営者が必要性を知り、従業員が適切な対応を行うことが企業活動では重要と考えられているが、継続した課題でもあるという結果となった。

また、対策支援費等の補助制度の充実は、多数ではないが継続して出てくる意見である。中小企業への税制優遇策などを積極的に知らせ、システム的な対策も併せて実施していくように指導者が助言していく必要があるだろう。

(キ) 今年度の情報セキュリティ指導者育成セミナーと今後の実施に関する意見を伺った。

① 本セミナーについてご存知でしたか。

はい	いいえ
31	23

本セミナーの認知度は、「はい」が「いいえ」を若干上回る結果となったが、6年度目という状況を考えるとまだまだ認知度は低い状況である。ITコーディネータの地域団体や地元の NPO の協力で、会場を商工会議所等を利用し、運営を地域の NPO などが行うという体制が増えて来ていることから、年度当初から積極的に開催の協力を行うなど、より一層関係団体の連携体制を作っていく必要があるだろう。

② 今後も、積極的に実施したほうが良いと思われますか。

ぜひ必要	どちらかといえば必要	どちらともいえない	あまり必要ない	必要ない
17	20	13	1	1

実施にはおおむね賛成が多く、必要はないとの意見は非常に少ない結果となった。積極的かどうかは特に地域の人口規模に比例することなく、団体ごとの担当者の意識によるところが大きそうである。開催に当たっては、少なからず会場担当者の負担を強いることから、できるだけ負担の少ない開催方法を検討する必要はあるが、積極的に開催の企画から集客に協力いただける団体も増えて来ており、地域の中心となっていくべき各団体への啓発活動としても継続して行くべきであろう。

③ 各団体が協力して本セミナーを実施する場合の、内容に関するリクエスト

内容は圧倒的に初心者向けの要望が多く、気づきを与える内容や、日常業務を基にした事例を多く活用した初心者向けセミナーという意見が多かった。また、経営者・幹部向けの短時間講座の要望もあり、中小企業に直接的に行う内容で、まだまだ意識啓発や気づきを与えるセミナーの要望は多い。

【自由意見】

- ・ 情報セキュリティ対策実践、企業内の体制整備
- ・ 経営者向けや担当者向け等、対象毎のセミナー開催
- ・ 個人の SNS 利用を含む組織での SNS 利用方法(炎上させないための社員教育など)
- ・ 情報セキュリティに関する脅威と具体的な対応方法

- ・ 情報セキュリティのリスクマネジメント
- ・ 1日研修ではなく、セキュリティのごく初歩の支援が具体化出来るノウハウの提供
- ・ 事例検討の内容
- ・ 新聞等で記事となった身近なセキュリティ問題について
- ・ 情報セキュリティの基礎から実務までを学ぶシリーズ
- ・ 参加企業との質疑応答や意見交換会の実施

④ 本セミナーの参加率を高めるための御意見やアイデア

指導者育成の趣旨で行っている事業だが、経営者に直接訴える機会の必要性を感じているという意見も出てきている。事例紹介などの内容の検討のほか、やはりメディア等を使ったPRの実施が挙げられているが、各協力団体による広報や日頃からの企業訪問等、協力団体によるより積極的な活動が望まれる内容も多く出てきた。

【自由意見】

- ・ 日商情報化研修としての実施
- ・ ネットショップセミナー等との同時開催
- ・ リスク・トラブル等の事例紹介や、セキュリティを怠った時の損害額の明示
- ・ メディアを使った広報（メールマガジン、DM、各協力機関のホームページや機関誌への情報掲載、各種広報媒体）
- ・ 企業訪問等による地道な啓蒙普及活動

⑤ 貴団体での実施を希望、または実施依頼をすれば検討いただけますか？

ぜひ実施を希望する	依頼があれば検討する	実施は難しい
2	31	21

前々項の質問では実施に対してはおおむね賛成であったが、自団体での実施は難しいとする意見が相当数出てきており、総論賛成各論反対という状況は変わっていない。特に参加者募集に不安を抱いているという意見が多く、少人数しか集まらなかった時に、開催団体として申し訳ないという意識はまだまだ強いようである。また、事業の理解を深めていただくとともに、地域で運営する事務局的存在として地域ITC団体との連携を進めるなど、さらに安心して会場提供いただける環境作りが必要であろう。

【自由意見】

- ・ 受講者の確保が難しい

- ・ 開催するための時間、人材の余裕がない
- ・ 別の機会で実施している
- ・ セミナーに関するニーズを把握しきれていないため。
- ・ セキュリティ対策の知見がない。地元 IT 企業が実施したほうが良い
- ・ 検討したが、カリキュラムが少し高度過ぎたため見送った
- ・ ユーザー向けの支援が中心で、指導者の育成は行っていないため

(ク) 会員企業向けにIT化促進支援事業(出来れば、情報セキュリティ対策に関連)として、活動されている主なものを自由記述してもらった。

活動内容	回答数
IT セミナー、パソコン教室	10
パソコン出張サービス、巡回指導	3
情報セキュリティセミナー(IPA 含む)	2
経営講習会	1
IT無料相談	2
ホームページ作成支援	3
会報等による啓発周知	1

(ケ) 会員向けに情報セキュリティ対策を行う際に、現時点で指導者的立場として応援を求める方がいるかどうかを、選択肢から選んでもらった。(複数回答可)

対象者	回答数
ITコーディネータ	39
中小企業診断士	21
EC実践研修認定講師	1
日商マスター	0
公認会計士、税理士などの財務専門家	1
弁護士、司法書士などの法務専門家	1
貴組織内の相談員	7
民間のITベンダー	37
ITC 以外の IT 関係資格保持者	10
その他	2
誰もいない	0

第11章 講師スキル養成セミナー開催状況

(ア) 実施概要:

中小企業の経営者に情報セキュリティ対策の必要性や経営に与えるインパクトを的確に伝え、なおかつ適切な対応を実施してもらうためには、情報セキュリティの知識を伝えるだけでなく、中小企業の立場に立って、業務を理解しながら情報セキュリティ面の指導をしていくことが重要である。

このため、前年度より知識を相手の立場に立って分かりやすく伝えるためのプログラムとして「講師スキル養成セミナー」を実施。今年度も若干プログラム構成を変え実施した。

実際の指導現場では、テキストや多くの情報を、対象者に合った内容に短時間でまとめて解説することが求められるため、決められた時間内でどのように研修にまとめ上げるかを中心として構成。講師としてプログラムを作り上げるスキルを学んでもらう機会とした。また、重要キーワード解説も実施し、講習会実施時に最新情報を伝えるための参考情報としてもらった。

開催日時・場所： 以下 3回開催 各 10:30～17:30

- ・2013年12月11日(水) 仙台
- ・2013年12月16日(月) 大阪
- ・2014年1月22日(水) 広島

参加者数 : 各回最大30名で募集

- ・12月11日(水)・・・9名参加(申込10人)
- ・12月16日(月)・・・25名参加(申込29人)
- ・1月22日(火)・・・12名参加(申込15人)

参加対象 : 指導者育成セミナーに参加いただいた受講者の中から、地域で中小企業に対する指導や講習会を積極的に行う意志がある方を中心に、申請いただいた講師経験や保有資格・スキル等を参考に選定した。

講師 : ・プレゼンテーション講習・・・長嶋純子氏(大塚商会)

- ・重要キーワードの最新情報解説・・・

長谷川長一[仙台]、嶋倉文裕氏[大阪]、本川祐二氏[広島](JNSA)

(イ) タイムスケジュール

時間	内容
◆午前	
10:30～10:35	オリエンテーション
プレゼンテーション講習	
10:35～10:45	講師の役割と必要な知識[講義/ディスカッション]
10:45～11:05	① 研修の設計ポイントとは 企画と設計/ストーリーとタイムスケジュール[講義/ディスカッション]
11:05～11:25	② インストラクター(講師)スキル 積極的傾聴[講義/ミニワーク]
11:25～11:35	休憩
11:35～12:15	②の続き わかりやすく伝える[講義/ミニワーク]
12:15～12:30	③ カリキュラムのブラッシュアップ 事前課題の解答を、どのようにまとめてきたか、グループで共有。
12:30～13:30	昼食
◆午後	
13:30～14:20	③の続き 午前中のポイントを踏まえ、グループ単位でディスカッションし、より良いカリキュラムに構成を修正。
14:20～14:30	休憩
14:30～15:50	④ インストラクション演習[ロールプレイ] ③で作成したカリキュラム案を基に、グループ代表1名による発表。
15:50～16:00	講師講評 セミナー終了 1日のまとめとして、講師実践上の注意点や、会場ごとの演習の中で特に気になった点などを解説。
重要キーワードの最新情報解説	
16:00～17:30	① クラウドコンピューティング ② スマートデバイス ③ 標的型攻撃

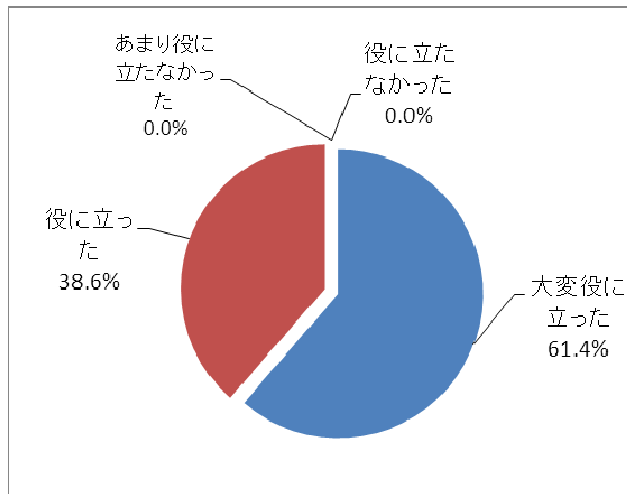
※ 時間帯は開催回ごとの進行により若干変更している。

(ウ) 受講アンケート結果

① プレゼンテーション講習

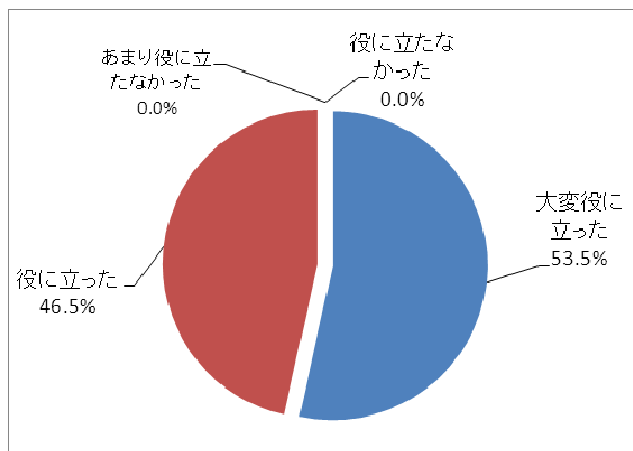
(1) インストラクター(講師)スキル講習

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
27名	17名	0名	0名



(2) インストラクション演習

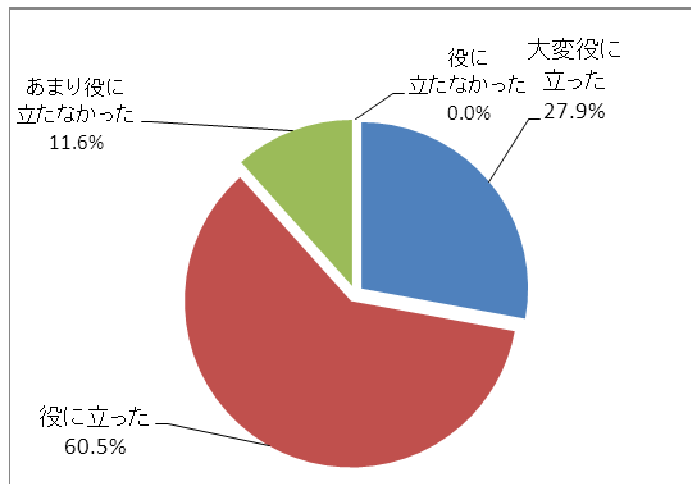
大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
23名	20名	0名	0名



② 重要キーワードの最新情報解説

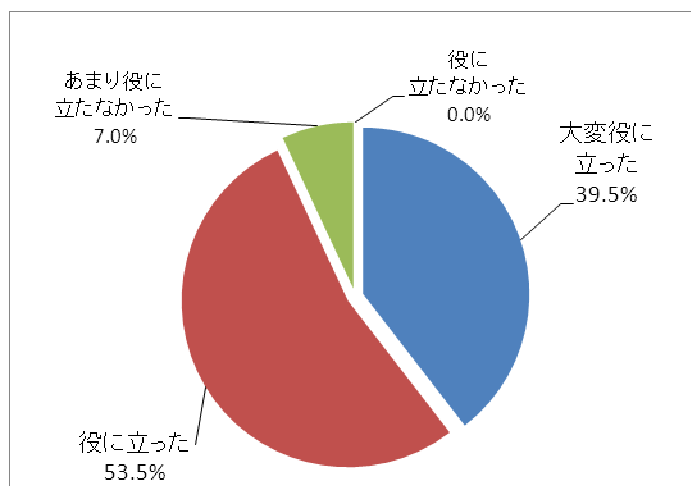
(1) クラウドコンピューティング

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
12名	26名	5名	0名



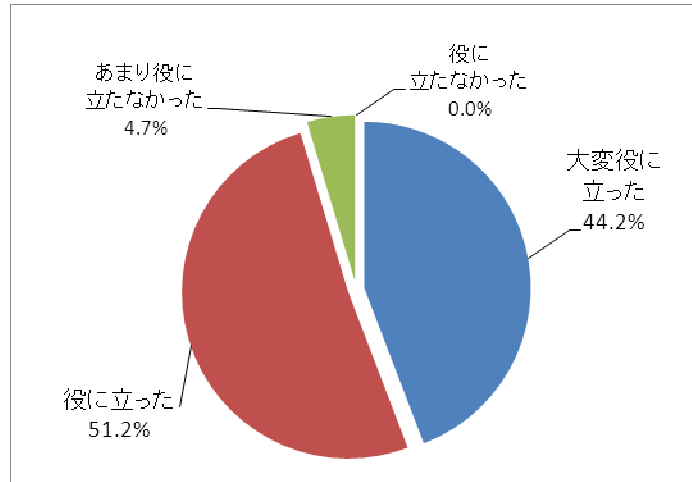
(2) スマートデバイス

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
17名	23名	3名	0名



(3) 標的型攻撃

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
19名	22名	2名	0名



③ 講師としてのプレゼンテーションスキルを向上して行くにあたって

- ・ 講師として必要なコミュニケーションスキルは改めて重要だと再認識しました。その中でわかりやすく伝える技術は重要と感じました。
- ・ 全員が発表できる機会があればよいと思います。ファシリテーションの研修は独立して別に行ってもよさそうです。
- ・ 研修のプランニングとプレゼンテーションスキル(実施時のスキル)をわけて実施してほしい。
- ・ 準備とシミュレーションが大切だということがよくわかりました。

④ 養成セミナー全体をとおし、実際に講師を行うことを前提にしてのご意見・ご質問

- ・ 知識だけでなく、相手とのコミュニケーションの重要性を普段の会話から気にかけておくことだと再認識しました。
- ・ グループディスカッションを通しての課題解決は大いに役立ちます。実践時は同じ方法論を進めていけば何とかなる…と思う次第です。
- ・ 日頃独学で実践している内容を理論的に組み立てられて良かったと思います。短時間の限られた中でアドリブで話をするときは、かなり早口となる自分の欠点が浮き彫りになって自分でも再認識できてとてもよかったです。

- ・ スマートデバイス、SNS など、自ら積極的に利用していかなければならないと思いました。
- ・ 短時間でいいので、プレゼン参考動画(ポイントが入ったもの)があるといい。

⑤ 講師スキル養成セミナーへのリクエスト

- ・ 1年間(年度)で複数回、ステップアップ方式で実施できればありがたい。
- ・ 講師スキルを養成したのちに活躍する機会があれば幸いです。
- ・ インストラクションテクニックについてもっと聞きたかった。

(エ) 講師スキル養成セミナーの全体総括

12月から1月にかけて3回開催し、全国から46名の参加者総数となった。今年度は参加者数ではなく、地方都市の方の参加者比率を高くすべく、地方3都市での開催を行った。

受講後のアンケート結果では、プレゼンテーション講習については全員が役に立ったと高評価。特に情報セキュリティというネガティブになりがち内容を伝える必要性から、コミュニケーションの重要性を再認識したとの回答が多かった。また、事前の準備の重要性についても理解いただけたようで、講習を行うにあたって日頃から最新技術や動向情報を常に吸収して行く必要があるとの意見もあった。また、重要キーワードの最新情報解説についても、役に立ったという意見が多かったが、スマートデバイスなどを使っていない方の場合には、理解ができにくい部分もあるようであった。自分から率先してIT機器を活用していなければわからない課題もあるために、できるだけ自分自身がIT活用をする必要もあるだろう。

第12章 入門セミナー開催状況

(ア) 実施概要:

本事業は、地域での指導者育成を趣旨として実施しているが、6年目を迎えて指導者育成セミナーへの参加者の分析をするなかで、指導的立場になろうとする人材の参加が増えていない状況も見えてきた。情報セキュリティ知識そのものをまずは勉強したいというニーズもあるものの、指導者育成セミナーでは指導の仕方を中心に構成しているため、まずは情報セキュリティ知識を習得したいという方々には難しすぎるという意見もあった。

そのため今年度は、情報セキュリティ知識を習得してから指導者育成セミナーに参加を検討したいという方がどの程度いらっしゃるのかの試験的実施として「入門セミナー」を開催した。

ビデオを使用した事例紹介や演習の仕方を解説するとともに、トレンドキーワードを説明する際のポイントを、トピック解説として事例を使って説明した。

なお、講師は指導者育成セミナーおよび講師スキル養成セミナーの受講経験者から選定し、地域で指導者として実績を積んでもらうための機会ともした。

開催日時・場所等の内訳:

開催日時	12月3日(火)	12月12日(木)	12月17日(火)	1月23日(木)	合計
開催場所	札幌	仙台	大阪	広島	4か所
参加者数	8名(申込10)	16名(申込22)	13名(申込20)	8(申込14)	45名(申込66)
講師	渡部洋子	小野桂二	渡辺 淳	島原智子	地域の指導者
立会講師	本川祐治	長谷川長一	嶋倉史裕	渡部 章	JNSA

参加対象 : 中小企業の経営者・IT 担当者、商工会議所・商工会職員や関係者など、情報セキュリティ知識を習得したい方。

(イ) タイムスケジュール

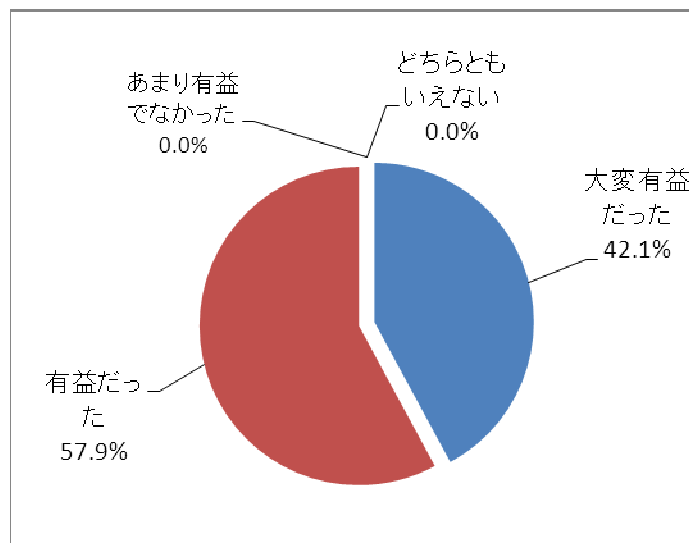
時間	内容
9:30～10:10	第1部 安全なITの有効活用のために 情報セキュリティの必要性と基本について解説
10:10～10:50	第2部 ビデオによる事例解説 DVDを見ながら実際にどのような対策をしていくか解説
10:50～11:00	休憩（10分）
11:00～11:40	第3部 ビデオによる事例演習 ケーススタディの演習を実施
11:40～11:50	休憩（10分）
11:50～12:30	第4部 トピック解説 標的型攻撃メール・スマートデバイス・クラウドサービス

※ 時間帯は開催回ごとの進行により若干変更している。

(ウ) 受講アンケート結果

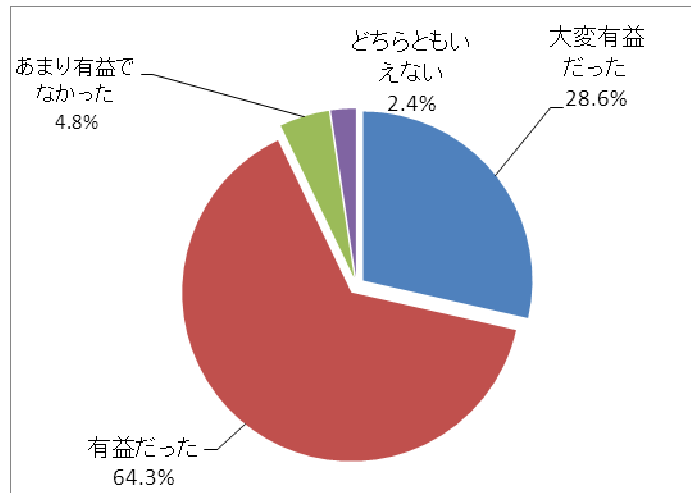
① 今回のセミナーに参加して如何でしたか？全体的な感想をお聞かせ下さい。

大変有益だった	有益だった	あまり有益で なかった	どちらとも いえない
16名	22名	0名	0名



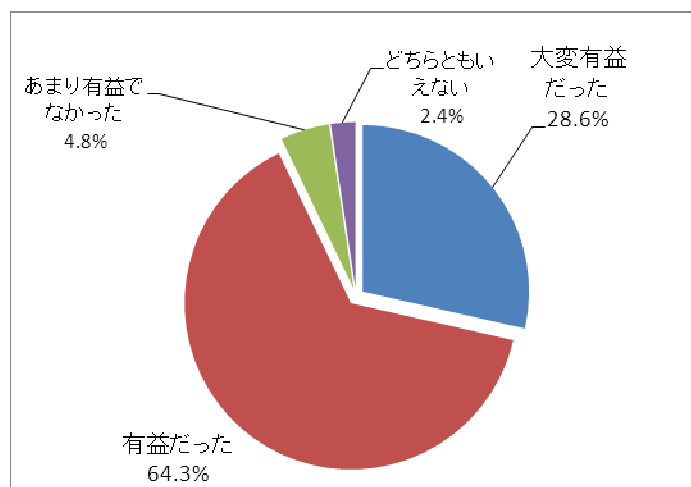
② プログラム「情報セキュリティの必要性と基本」の感想

大変有益だった	有益だった	あまり有益でなかった	どちらともいえない
16名	22名	0名	0名



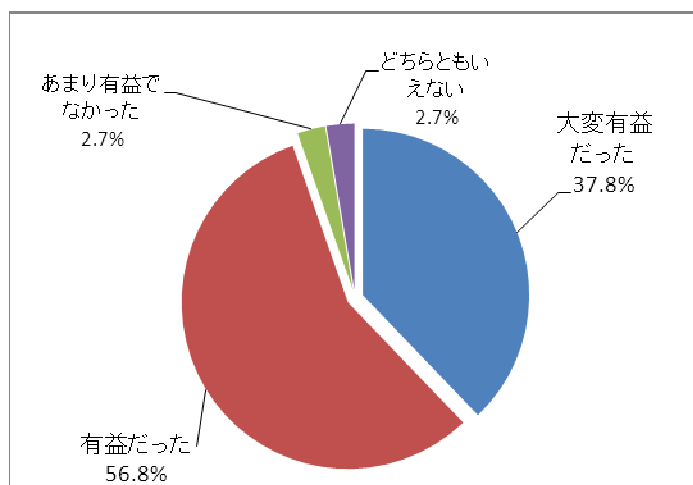
③ プログラム「ケーススタディ解説/演習」の感想

大変有益だった	有益だった	あまり有益でなかった	どちらともいえない
12名	27名	2名	1名



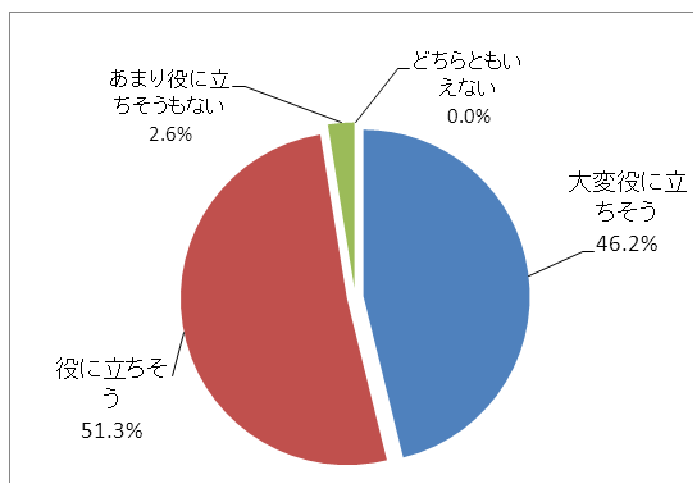
④ プログラム「トピック解説」の感想

大変有益だった	有益だった	あまり有益でなかった	どちらともいえない
14名	21名	1名	1名



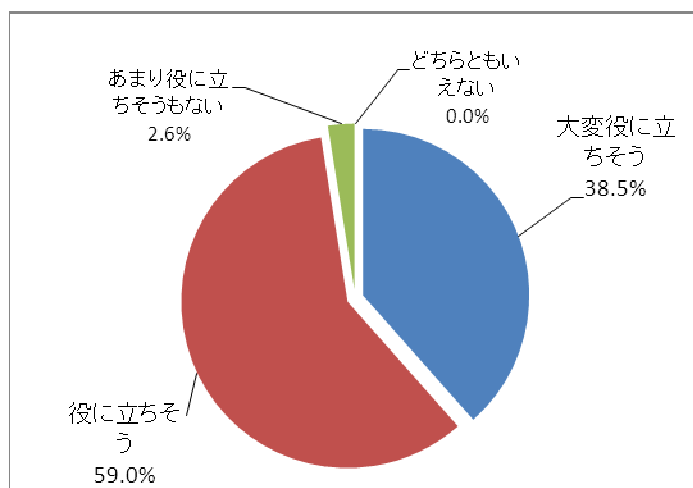
⑤ 教材「テキスト」の感想

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
18名	20名	1名	0名



⑥ 教材「ビデオ」の感想

大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
15名	23名	1名	0名



⑦ セミナー全体についてのご意見・ご感想

- ・ 基本、ケーススタディ演習などあってたいへん面白かった。
- ・ 「中小企業が知っておくべき情報セキュリティ対策」はわかりやすくまとめられており、ユーザに紹介したい。
- ・ 診断シートを使用して自社の状況確認・対策を行う必要があるという認識が持てたので、良い内容だと思います。
- ・ 講師の説明もわかりやすく、説明のみでなく、ケーススタディも初級用としては適切であった。

⑧ 各プログラムについて、ご意見・ご感想

- ・ ケーススタディは意外と気にせず行っていた行動を見直す参考となった。社内で見直すきっかけとなった。
- ・ トピック解説をもっとして欲しかったです。
- ・ ケーススタディの企業の紹介にもう少し時間をとって欲しかった。また、具体的な対策をもう少し詳しく説明があれば、より理解が深まると思われる。

⑨ 本日の運営に関するご感想、ご意見

- ・ 半日コースがよいと思います。テキスト、教材が適切と感じました。説明もわかりやすく、理解できました。
- ・ ファイル共有ソフト、P2P、不正アプリのしくみ等の話が聞きたかった。
- ・ 講師のプレゼンのパワーポが、中小企業や個人事業主の理解度や意識向上に役立ちます。

(エ) 入門セミナーの全体総括

12月から1月にかけて4回開催し、45名の参加者総数となった。想定する参加対象者を、これから情報セキュリティ知識を習得し、将来には指導者を目指してもらおう方として実施した。

受講後のアンケート結果では、全員が有益であったと高評価。特に参加者のレベルとしては、想定した対象層よりも指導者レベルに近い方の参加が多かったが、「今回の入門セミナーを自分たちが行うセミナーに使えるのか」といった視点で受講された方もあり、積極的に活用していきたいという方が多かったことも評価が高かった要因だと考えられる。

また、講師については指導者育成セミナーおよび講師スキル養成セミナーを受講された地域での指導者の中から、講習会実施の経験などを加味して選定。指導者育成セミナー受講者が、本事業での講師に成長してもらおう機会としても実施した。初めての試みであったため、講師ごとに若干の講習の流れの違いなどが出ていたが、主催のJNSA講師が立ち会いを行うことで大きく外れることなく実施できた。

今年度は試験的に行ったこともあり、地域特性であったり参加者のレベルによって、受講後に指導者を目指すのかなどの分析は今の時点では難しいが、今後継続的に実施することで、指導者へのレベルアップをする機会にできるかの分析ができていくであろう。開催地域や集客方法を検討しながら継続することで、本事業の目指す指導者育成増加のための一施策となる可能性を感じた施策となった。

第13章 指導者による地域での講習会の開催

指導者育成セミナー受講者が、実際に指導者として各地の中小企業の経営層の方々に対する「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施してもらうことで、本事業の目的とする中小企業経営者への指導者としての経験を積んでもらうこととしており、今年度も積極的な開催を推奨してきた。

対象とする講習会は、2013年2月末までに開催し、10名以上に対して最低2時間を実施。中小企業の企業内の情報セキュリティ対策を行う経営者等に対して、講習用テキストの内容やセミナーで行った演習に基づいて、講習会を行うこととした。

また、講習会を実施する指導者として、地域の中小企業に広くお知らせするため、指導者氏名等(希望内容のみ)を本促進事業のホームページに掲載した。

<指導者のご紹介ページ>

<http://www.jnsa.org/ikusei/seminar/instructor.html>

講習会を開催した際に、参加した受講者からアンケートを収集するとともに、開催状況を当協会に報告していただいております。実施された講習会の実施状況等を以下に記載する。

(ア) 開催回数……………43回

今年度は前年度の45回を若干下回ったが、ほぼ同等の開催数であり、受講者が地域で講習会を行うことが定着してきた。

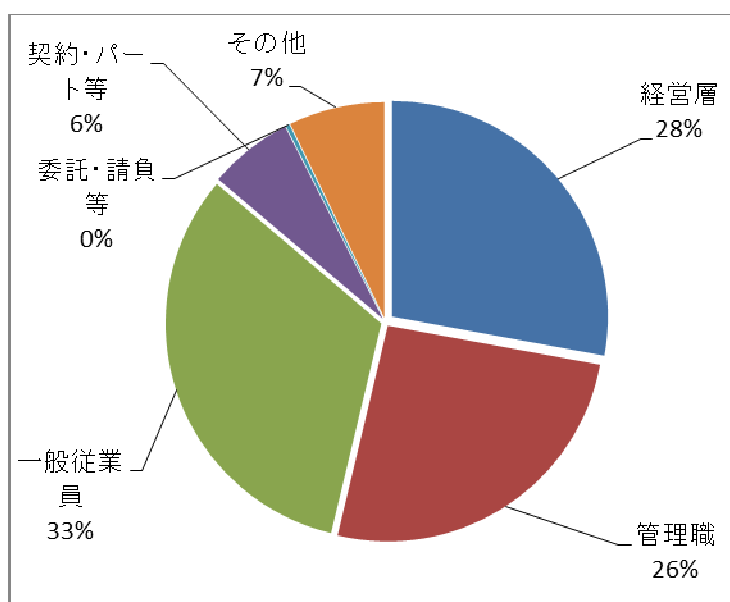
講習会の内容は、すべての講習会43件でテキストを活用、ビデオ視聴は35件、その他演習等も行ったのが26件であった。

開催時間の平均は2.5時間。昨年同様2時間～2.5時間が3/4を占め、経営層を含めた中小企業の従業員を拘束出来る時間の限界と思われ、指導者育成セミナーでも要望の多かった1Hから2Hで実施できる教育コースのモデルプログラムやテキストの要望が多くなってきている。

また、1回あたりの参加者数は18名強となっており、30名以上の大人数での実施も徐々に増えてきている。

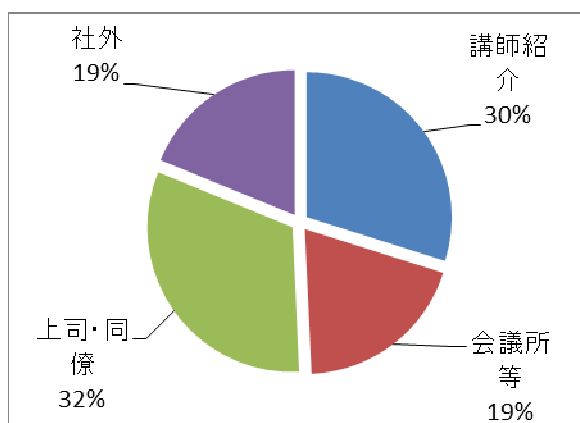
(イ) 受講者.....687名

役職階層別内訳		受講者数
経営層		190
管理職		176
一般従業員		221
契約・パート		43
委託・請負		2
その他		49
合計		681
再掲:	専任	29
情報セキュリティ担当	兼務	235



(ウ) 講習を知ったきっかけ

回答項目	回答数
講師からの紹介	205
会議所等	133
上司・同僚	219
社外	129
合計	686

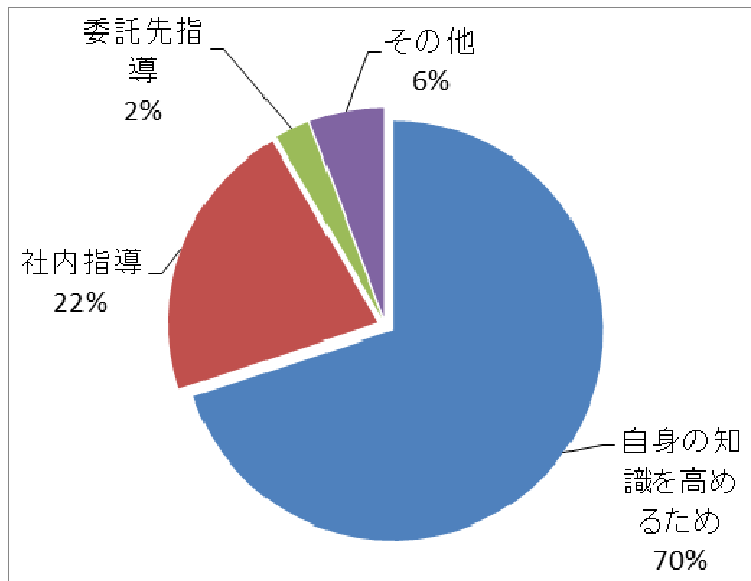


(エ) 講習会への参加回数

回答項目	回答数
初回	497
2回目以上	174
合計	671

(オ) 講習会への参加目的

回答項目	回答数
自身の知識を高めるため	522
社内指導	162
委託先指導	20
その他	43
合計	747



(カ) アンケート集計結果

① 講習内容について

(1) 講義全体

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
263	253	153	11	0

(2) 難易度

簡単	やや簡単	ちょうど 良い	やや 難しい	難しい
59	96	401	112	13

(3) 理解度

理解 できた	ほぼ理解で きた	普通	やや理解で きなかった	理解でき なかった
190	243	190	53	4

(4) 進行の早さ

早い	やや早い	ちょうど 良い	やや遅い	遅い
28	103	518	24	2

(5) 時間数

短い	やや短い	ちょうど 良い	やや長い	長い
37	105	449	67	6

(6) この講習を他社に紹介したいか

ぜひ紹介 したい	紹介 したい	どちら でもない	あまり紹介し たくない	紹介したく ない
94	358	219	5	1

講師ごとに同じ講習内容で行ったわけではないため単純比較は難しいが、おおむね好評というアンケート結果となった。

特に、テキストの評価は依然として高く、中小企業のレベルに合っているという意見が多く聞かれた。時間数は平均で2.5時間であるが、大半がちょうど良い感じているアンケート結果であり、2時間程度が目安であるといえる。

また、ビデオを使った演習は好評であり、テキスト解説だけでなく、ビデオ視聴の後でポイントをテキストで説明するという簡単な内容でも、気づきを与えることができたと非常に好評であった。

① テキストについて(難易度)

簡単	やや簡単	ちょうど 良い	やや 難しい	難しい
22	58	452	102	9

今年度は大幅な構成変更は行わず、前年度までのテキストの情報を最新化することを中心に改訂を行った。公表されているグラフやデータの最新化だけでなく、新たな脅威として前年度追加した標的型攻撃やクラウド、スマートデバイスといった状況が変わりやすいものの最新事例などを差し替えた。

受講対象者のレベルにもよるが、今回のセミナーではテキストの必要部分を選択して2時間程度で講習会を実施できるように講習プログラム例を作成したこともあり、おおむね好評価をいただいた。

情報セキュリティ知識は非常に広範で、なおかつ奥も深いだけでなく、日々状況が変わるため、今後も最新データはもちろん、脅威や対策の動向は改訂して行くべきであろう。

② 今回の講習会を受けて、情報セキュリティ対策を適切に実施できそうですか？

自信が ついた	やや自信が ついた	何とか できそう	やや不安	不安
71	152	294	120	22

自分の意識や知識の低さを認識したり、現実としての脅威を実感するなど、従業員への教育が必要だという意見が多く書かれていた。実践や対策実施のためには、継続して講習を行った方がいいという意見も多く、さらなる継続学習が必要であると気づいていただけた。

③ 情報セキュリティに関する相談者の現状

(1) 相談をできる方の有無

いる	いない
429	235

(2) 1.で「いる」とお答えの方が相談する方

対象者	回答数
IT コーディネータ	89
中小企業診断士	15
EC 実践研修認定講師	1
日商マスター	17
公認会計士・税理士	25
弁護士・司法書士	15
商工会議所など	15
講習会講師	85
社内 IT 管理責任者	146
メーカー・ベンダ SE	91
量販店の SE	11
その他	34

(3) 1.で「いない」とお答えの方の相談する方の必要性

必要	不要	どちらとも いえない
104	26	105

相談する対象者がいる者は 64%と、前年度(60%)より若干上向きの状況。相談者で一番多いのが「社内 IT 管理責任者」であり、企業内での指導者育成も重要になってきている。

また、1/3 以上は誰にも相談できないでいる現状があり、中小企業が事業を進めるうえで参考になる情報を持ち、なおかつ情報セキュリティ知識を保有している人材の育成とマッチングが必要である。

相談する者がいないと答えた者のうち、必要だと感じているものは前年とほぼ同じく約半数しかいない。前年度調査時と変わっておらず、地域での指導者育成と、適切な指導者の必要性認知を進めていく必要がある。

(キ) 指導者意見抜粋

- 一通りのセキュリティの知識を与えるには、教える側には2時間では短く、聞く側には長くボリュームが多い。もっと短時間で数回に分けて行えると効果的なセミナーになると思う。
- こちらが想像する以上にセキュリティに対する意識と知識の少なさには驚いた。セキュリティに対する認識を高めるためには、担当者のみならず、もっと多くの方々にもお伝えする必要があると再確認した。
- 営業箇所、勤務時間が分散しており、研修時間を確保することが容易ではなかった。
- 参加者のITリテラシが異なるため、説明レベルに苦慮した。
- コンテンツ自体は満足いただけたが、参加者の多くはより具体的な個社にあった答えを望んでいるように感じた。

第14章 まとめ

中小企業情報セキュリティ対策促進事業として6年目を迎え、中小企業を指導する立場にある様々な方を受講対象者とした「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を実施した。企画にあたっては、事業主旨はもとより前年までの成果や課題を基に内容検討を行い、中小企業の経営者に対して指導者がより効果的に指導を行うことができるセミナーとして実施にこぎつけた。最終的に全国20都道府県で全21回開催することが出来たが、約4ヶ月という短い期間で開催したにも関わらず、参加人数は1,019名とほぼ前年並みを数え、予定した会場すべてで開催することができた。また、今年度は前年度に引き続き講師スキル養成セミナーを3回開催し、46名の指導者に対して講師としてのスキル強化を行った。さらには今年初めて試験的に入門セミナーも4回開催し、45名の参加をいただいた。それぞれ無事終えることができたのは、独立行政法人情報処理推進機構、日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会、株式会社商工組合中央金庫、さらには地域のNPOなど多くの関係機関の皆様の協力の賜物である。

今年度は、過去5年間実施した中での課題点と、過去のセミナー受講で成長してきている地域の指導者のスキルレベルを勘案し、中小企業で行われている情報セキュリティ対策を、日常業務の中で点検・チェックを行い、必要に応じて対策の見直しを行う意義や方法を重視したカリキュラムとした。グループ討議も、対象企業の運用状況をチェックし、チェックリストを新しく作るという演習方法でのセミナーとしたことで、これまで以上に中小企業の指導に役立つ内容だという意見を多くいただいた。

さらには、受講いただいた参加者が指導者として、地域企業を対象に講習会を行ってもらう施策を継続して実施。講習に参加した中小企業の意見には「まずはできる対策から行いたい」、「自分たちにも関係があることが分かった」といった感想が多くなっており、中小企業の経営者への情報セキュリティ対策の重要性への気づきを与えることが出来たことは、本事業主旨に沿った結果として大きな成果であった。

また、前年度に引き続き行った「講師スキル養成講座」は、参加者から「中小企業の経営者にも分かりやすく伝えるポイントが分かった」と非常に高評価であり、実際に講習会をするための参考となり、指導機会を増やして行こうというモチベーションが上がったという意見をいただいた。

今年初めての試みとしては「入門セミナー」を開催した。開催地域の指導者を講師として起用することで、指導者育成セミナー受講者から地域の指導者へ、という本事業の趣旨を試験的にだが具現化することができた。

それぞれの施策を実施する中で、各地での参加者や会場となっていた各団体の皆様から、叱咤激励を含めて今後に向けての貴重なご意見をたくさんいただいております。継続してのセミナー開催や、地域での支援施策を期待していただいている。来年度は、様々な課題を認識し、実施効果を意識しながら具体的施策を検討し、参加者がより指導的立場で多くの中小企業に接し、「情報セキュリティ」の本質を伝えていただくような、効果的な施策を行っていくべきであろう。

最後になるが、中小企業情報セキュリティ対策促進事業の最終目的を実現するためには、我々事業を実施する側からのアプローチだけではなく、地域の拠点としての商工会議所や都道府県中央会等、あるいはITコーディネータや中小企業診断士を始めとする指導的人材、中小企業の経営者・従業員の企業側の人材のそれぞれの組織・立場の方たちが目的を明確にして、力を合わせた活動にしていくことが重要であろう。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。

平成26年3月発行

発行: 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

東京都港区西新橋 1-22-12 JCビル3F

E-mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

「中小企業情報セキュリティ対策促進事業」は経済産業省の委託事業であり、
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)が実施しています。

<http://www.jnsa.org/ikusei/>